

Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

スポーツボランティア個人に関する活動調査 一 報 告 書



特定非営利活動法人 日本スポーツボランティアネットワーク

〔共同研究者 文教大学 人間科学部 准教授 二宮雅也〕

目 次

1. 調査概要	1
1.1 調査目的	1
1.2 回答者の属性	2
2. 調査結果	7
2.1 スポーツボランティアの実施状況	7
2.2 スポーツボランティア実施希望	18
2.3 スポーツボランティア実施の問題・課題	22
2.4 スポーツ以外のボランティア活動	24
2.5 今後開催されるビッグスポーツイベントの ボランティアへの参加意向	28
2.6 スポーツ実施・観戦状況	36
2.7 日本スポーツボランティアネットワークに対する期待・要望など	42
参考資料（調査票）	

1. 調査概要

1.1 調査目的

本調査は、日本スポーツボランティアネットワーク (JSVN) 正会員団体の登録者および日本スポーツボランティアネットワークのライセンス保有者を対象に隔年で実施し、活動状況や課題等の現状を把握し、今後のスポーツボランティアの活動環境の向上のための基礎資料にすることを目的とした。

(1) 調査方法

インターネット調査

(2) 調査（分析）対象

- 日本スポーツボランティアネットワーク正会員団体（14 団体）のボランティア登録者：約 1,600 名
「さっぽろ健康スポーツ財団、うつくしまスポーツルーターズ、館山市、小平市、笹川スポーツ財団、ジャパン・スポーツボランティア・ネッツ、スペシャルオリンピックス日本 (SO)、スポーツボランティア東京、日本スポーツボランティア・アソシエーション、川崎フロンターレ、湘南スポーツコミュニティセンター、エコデザイン市民社会フォーラム、愛媛大学、富山スポーツボランティア育成会」
- 日本スポーツボランティアネットワーク ライセンス保有者：約 2,500 名
スポーツボランティア研修会 修了者 2,509 名
内、①～③含む－①スポーツボランティア・リーダー 468 名
②スポーツボランティア・上級リーダー 49 名
③スポーツボランティア・コーディネーター 4 名

(3) 調査（分析）内容

個人的属性（性別・年代・居住都道府県・所属団体・所持ライセンス・活動年数・資格）、スポーツボランティア活動の有無・活動内容・回数、障害者スポーツのボランティア活動の有無・活動内容・回数、日常生活での変化、スポーツボランティア活動希望・希望内容、スポーツボランティア活動実施上の課題、スポーツ以外のボランティア活動の有無・活動内容、ビッグスポーツイベントでの活動希望（東京 2020 大会オリンピック、同パラリンピック、ラグビーW 杯 2019、2021 関西ワールドマスターズゲームズ）、運動・スポーツ実施の有無・実施頻度、直接スポーツ観戦の有無、JSVN に対する意見・要望等

(4) 調査期間

2016 年 2 月 6 日～2 月 26 日

(5) 調査回収数

全国 10～70 歳代以上、755 サンプル

1.2 回答者の属性

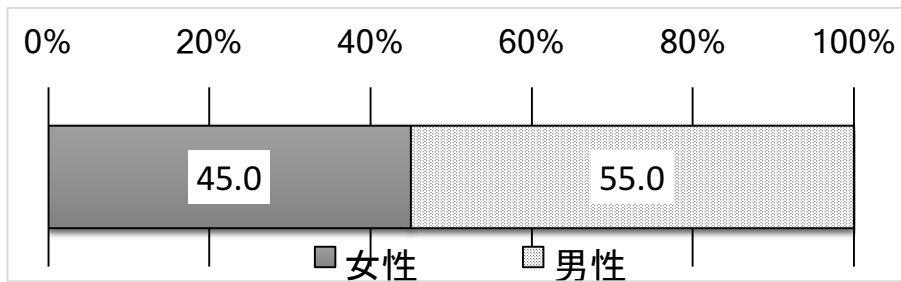
(1) 性、年齢

回答者の性別は、全体では女性が45.0%、男性が55.0%で、男性の回答者が10ポイント高くなっていた。回答者の年齢は、10代が1.5%、20代が5.0%、30代が8.2%、40代が21.6%、50代が32.5%、60代が24.2%、70代以上が7.0%であった。

(図表 1-1)

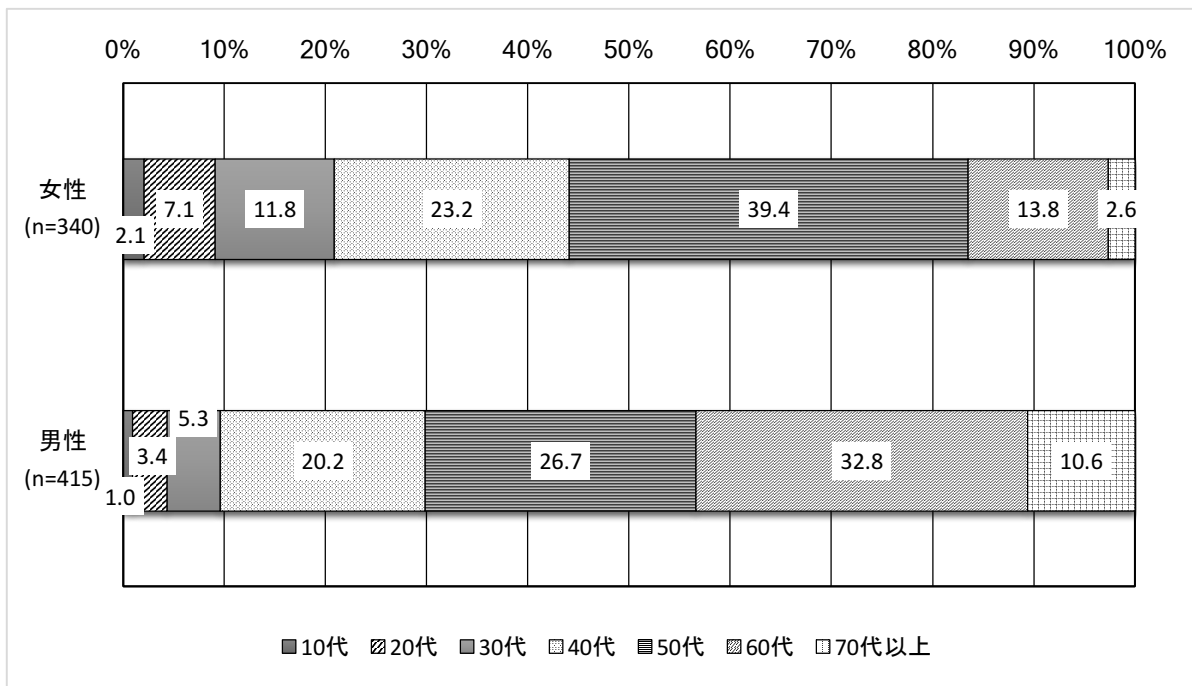
性・年齢別では、女性は50代が、男性では60代が最も高くなっている。また、50代において女性の割合が約10ポイント以上、60代以上では男性の割合が約20ポイント以上高くなっている。(図表 1-2)

図表 1-1 回答者の性別



n=755

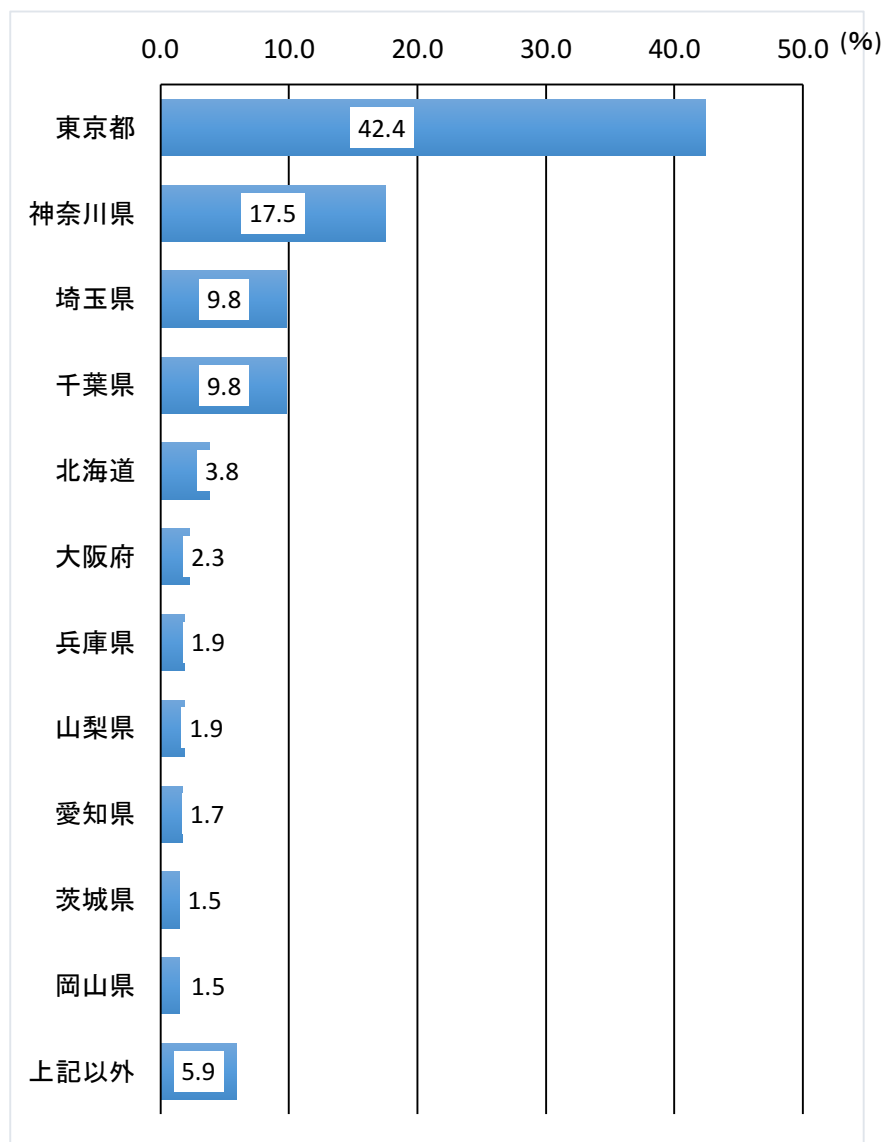
図表 1-2 回答者の性・年齢別の状況



(2) 居住都道府県

回答者の居住都道府県は、東京都が 42.4%と最も多く、次いで、神奈川県が 17.5%、埼玉県と千葉県が 9.8%となっている。(図表 1-3)

図表 1-3 回答者の居住都道府県

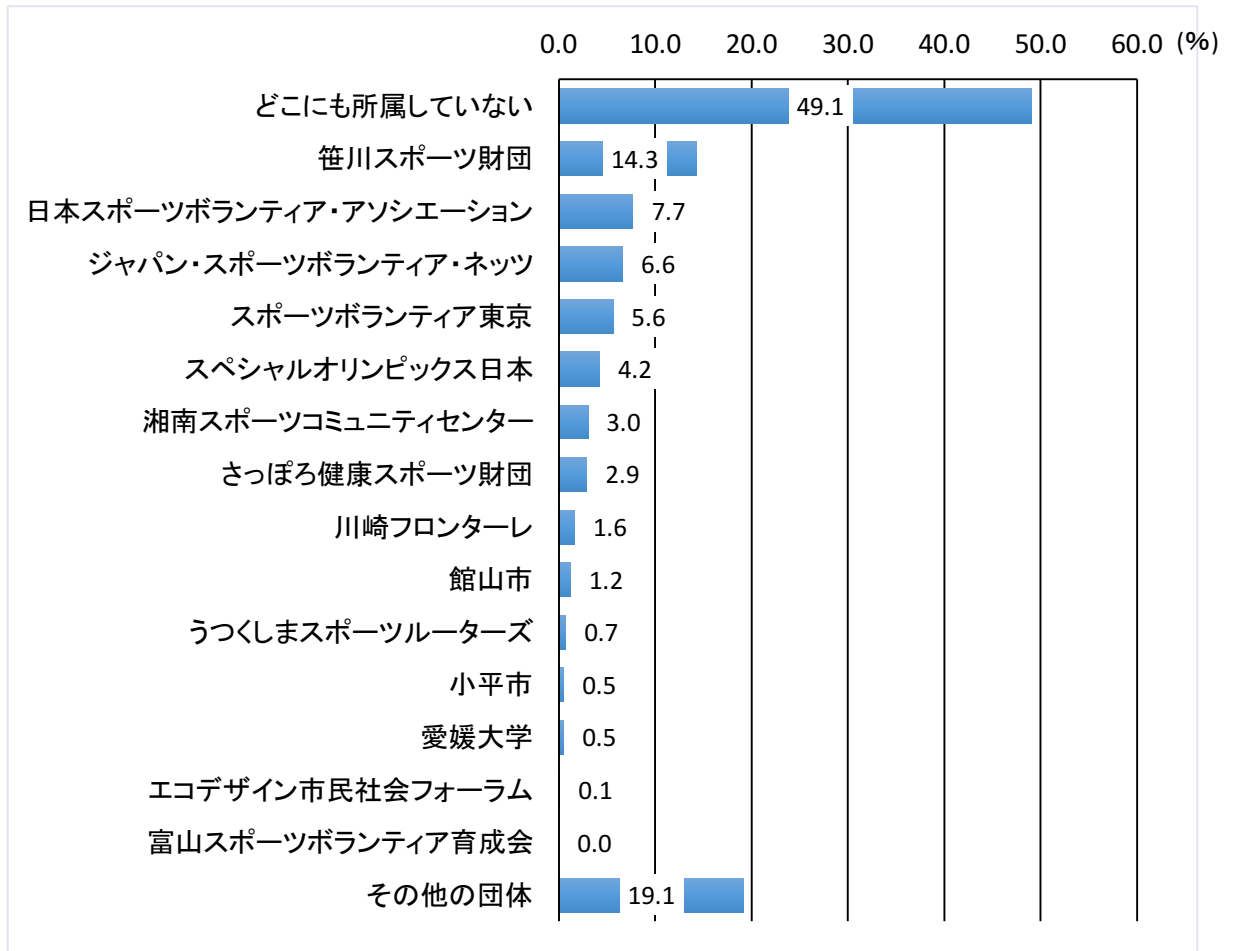


n=755

(3) 所属ボランティア団体

回答者の所属ボランティア団体は、「どこにも所属していない」が49.1%と最も高く、次いで、「その他の団体」が19.1%、「笹川スポーツ財団」が14.3%となっている。(図表1-4)

図表1-4 回答者の所属ボランティア団体（複数回答）

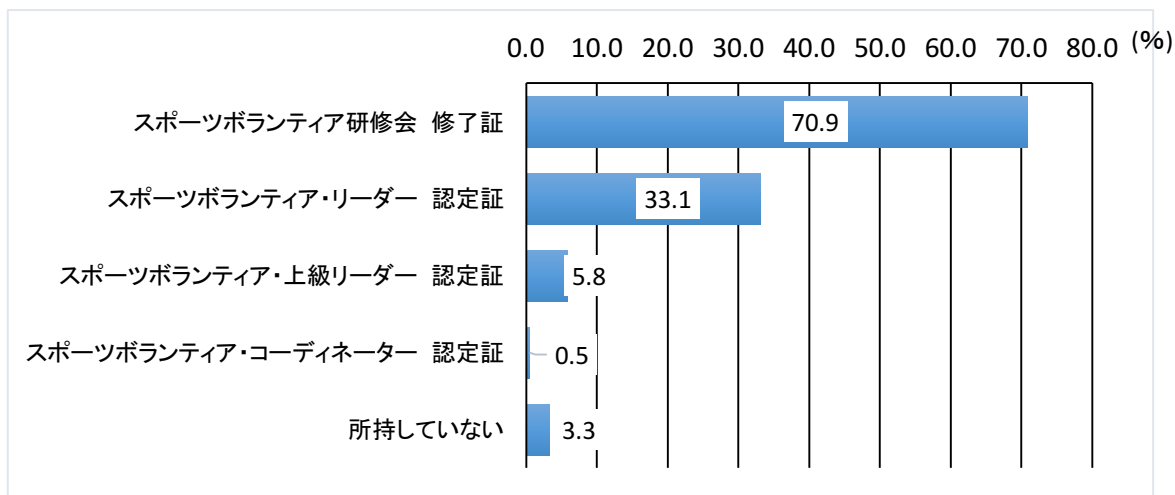


n=755

(4) 所持している修了証、認定証

回答者の所持している修了証、認定証は、「スポーツボランティア研修会 修了証」が70.9%と最も高く、次いで、「スポーツボランティア・リーダー 認定証」が33.1%、「スポーツボランティア・上級リーダー 認定証」が5.8%、「スポーツボランティア認定証」が0.5%となっている。また、「所持していない」は3.3%となっている。(図表1-5)

図表 1-5 所持している修了証、認定証(複数選択可)

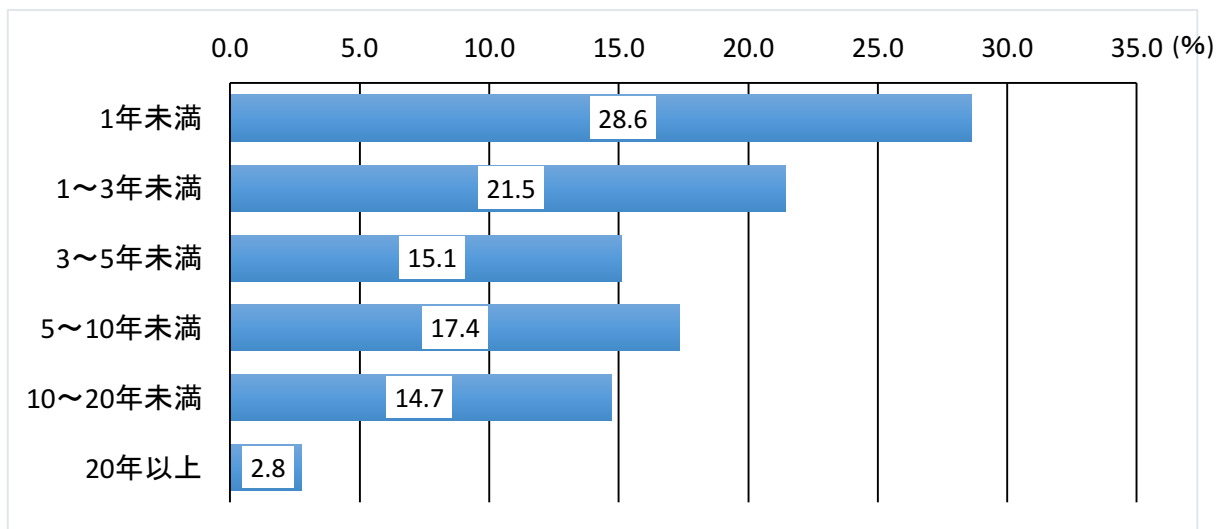


n=755

(5) スポーツボランティア活動歴

回答者のスポーツボランティア活動歴は、「1年未満」が28.6%と最も高く、次いで、「1～3年未満」が21.5%、「5～10年未満」が17.4%となっている。(図表1-6)

図表 1-6 回答者のスポーツボランティア活動歴

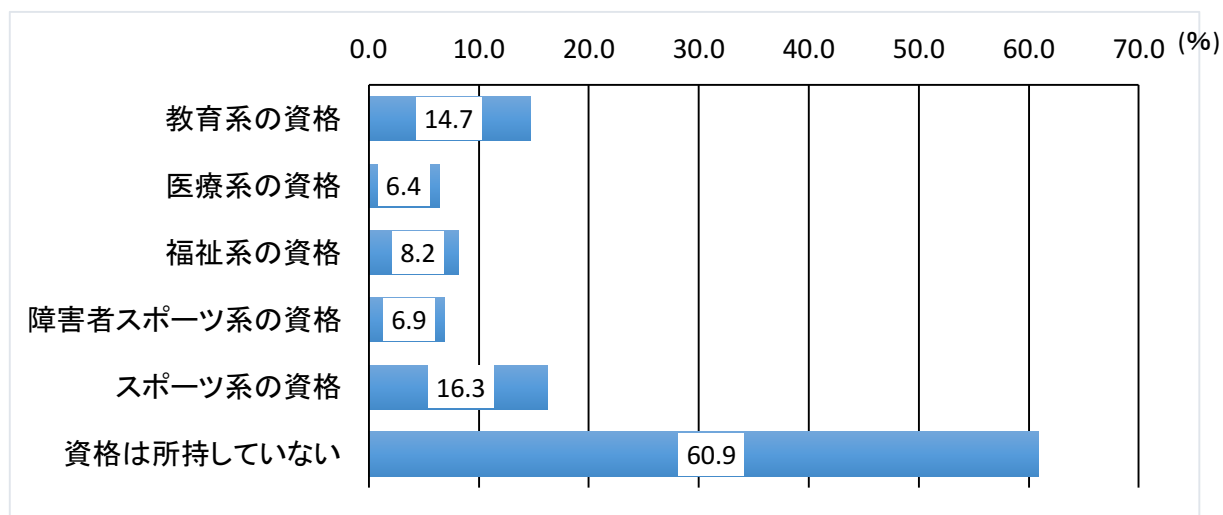


n=755

(6) 所持している資格

回答者の所持している資格は、「スポーツ系の資格」が16.3%と最も高く、次いで、「教育系の資格」が14.7%、「福祉系の資格」が8.2%となっている。また、「所持していない」は60.9%となっている。(図表1-7)

図表 1-7 所持している資格(取得中含む、複数回答)



n=755

2. 調査結果

2.1 スポーツボランティアの実施状況

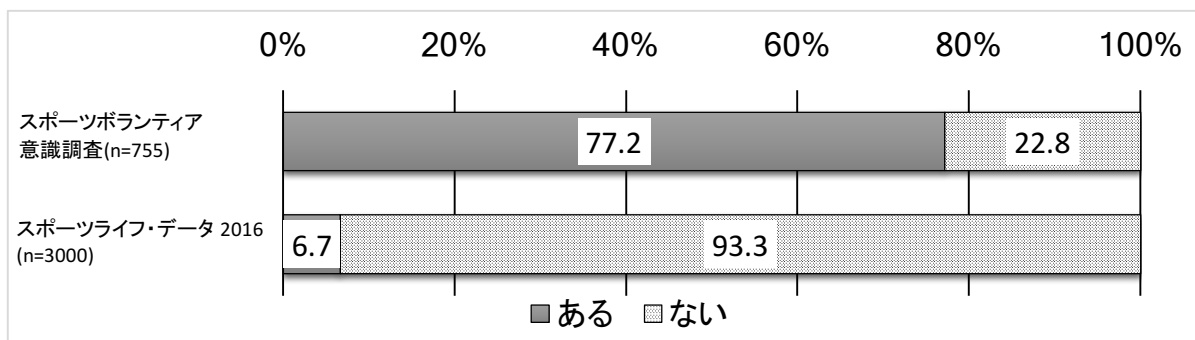
(1) 実施状況

過去1年間のスポーツボランティアの実施状況の有無をみると、「ある」が77.2%と最も高く、「ない」が22.8%となっている。(図表2-1)

属性別では、性別において、男性がやや高くなっている。年代別では、60代において、80%を超える高い実施率である。所持している修了証、認定証別では、「スポーツボランティア・リーダー認定証」、「スポーツボランティア・上級リーダー認定証」、「スポーツボランティア・コーディネーター認定証」において、90%以上の高い実施率である。スポーツボランティアを始めてからの経過年数別では、「1～3年未満」から「20年以上」において80%以上の高い実施率である。所持している資格別では、「医療系」、「障害者スポーツ系」、「スポーツ系」において80%以上の高い実施率である。(図表2-2)

笹川スポーツ財団の『スポーツライフ・データ 2016』調査結果と比較すると、スポーツボランティア活動に携わる満18歳以上の人の割合は6.7%となっており、本調査結果におけるスポーツボランティアの実施率は非常に高い割合であることがわかる。また、属性別では、性別において男性の実施率が女性より高い割合であるという傾向は一致している。年代別では、『スポーツライフ・データ 2016』では18・19歳の実施率が最も高く、20代以降の結果では40代の実施率が最も高い結果となっている。一方で、本調査では60代が最も高い実施率となっている。

図表2-1 過去1年間のスポーツボランティアの実施状況



図表 2-2 属性別過去1年間のスポーツボランティアの実施状況

		合計	過去1年におけるスポーツボランティア活動の有無	
			ある	ない
全体		755 100.0	583 77.2	172 22.8
性別	女性	340 100.0	249 73.2	91 26.8
	男性	415 100.0	334 80.5	81 19.5
年齢	10代	11 100.0	8 72.7	3 27.3
	20代	38 100.0	25 65.8	13 34.2
	30代	62 100.0	45 72.6	17 27.4
	40代	163 100.0	123 75.5	40 24.5
	50代	245 100.0	185 75.5	60 24.5
	60代	183 100.0	156 85.2	27 14.8
	70代以上	53 100.0	41 77.4	12 22.6
所持している 修了証、 認定証	スポーツボランティア研修会 修了証	535 100.0	384 71.8	151 28.2
	スポーツボランティア・リーダー 認定証	250 100.0	225 90.0	25 10.0
	スポーツボランティア・上級リーダー 認定証	44 100.0	42 95.5	2 4.5
	スポーツボランティア・コーディネーター 認定証	4 100.0	4 100.0	0 0.0
スポーツボ ランティア を始めてか らの経過年 数	1年未満	216 100.0	102 47.2	114 52.8
	1～3年未満	162 100.0	135 83.3	27 16.7
	3～5年未満	114 100.0	102 89.5	12 10.5
	5～10年未満	131 100.0	117 89.3	14 10.7
	10～20年未満	111 100.0	106 95.5	5 4.5
	20年以上	21 100.0	21 100.0	0 0.0
所持してい る資格	教員系	111 100.0	75 67.6	36 32.4
	医療系	48 100.0	42 87.5	6 12.5
	福祉系	62 100.0	49 79.0	13 21.0
	障害者スポーツ系	52 100.0	48 92.3	4 7.7
	スポーツ系	123 100.0	106 86.2	17 13.8

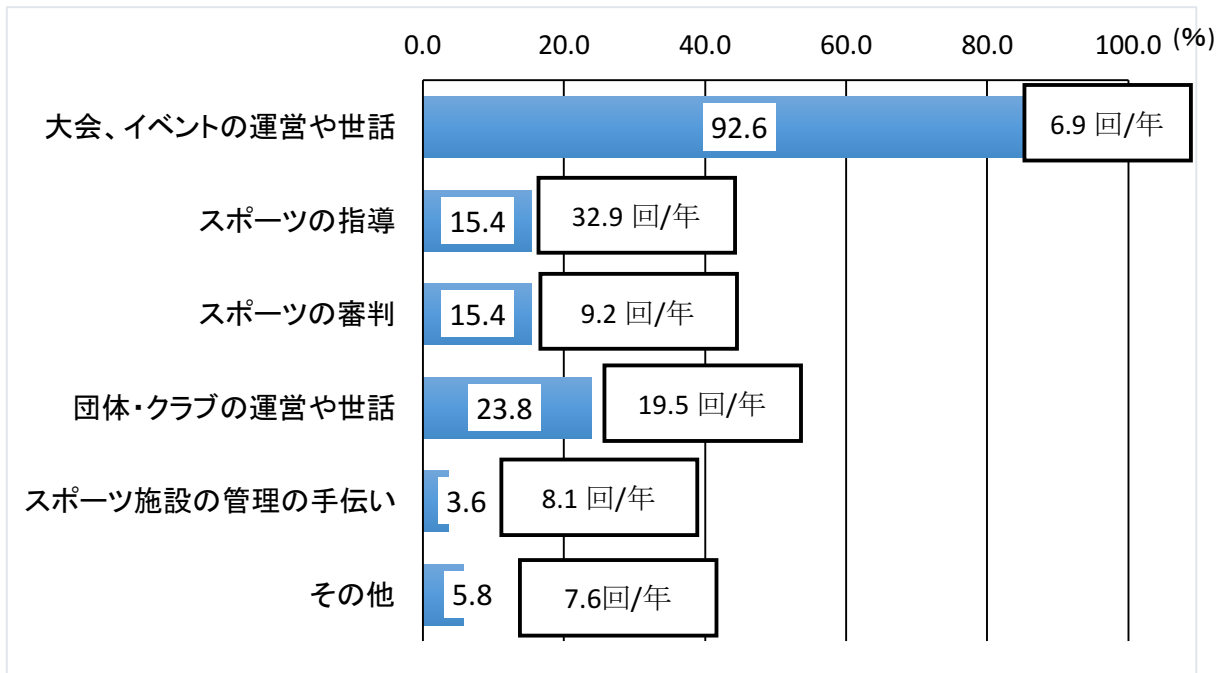
(2) 活動内容

過去1年間のスポーツボランティアの活動内容をみると、「大会、イベントの運営や世話」が92.6%と最も高く、次いで、「団体・クラブの運営や世話」が23.8%、「スポーツの指導」、「スポーツの審判」が15.4%となっている。年間の実施回数では、「スポーツの指導」が32.9回と最も多く、次いで、「団体・クラブの運営や世話」が19.5回、「スポーツの審判」が9.2回となっている。(図表2-3)

笹川スポーツ財団の『スポーツライフ・データ 2016』におけるスポーツボランティア実施者の活動内容をみると、『地域のスポーツイベント』における「大会・イベントの運営や世話」が49.5%と最も高く、次いで『日常的な活動』の「団体・クラブの運営や世話」が35.6%、「スポーツの指導」が29.7%となっている。具体的な活動内容の実施率の傾向は本調査と概ね一致していると考えられる。(図表2-4)

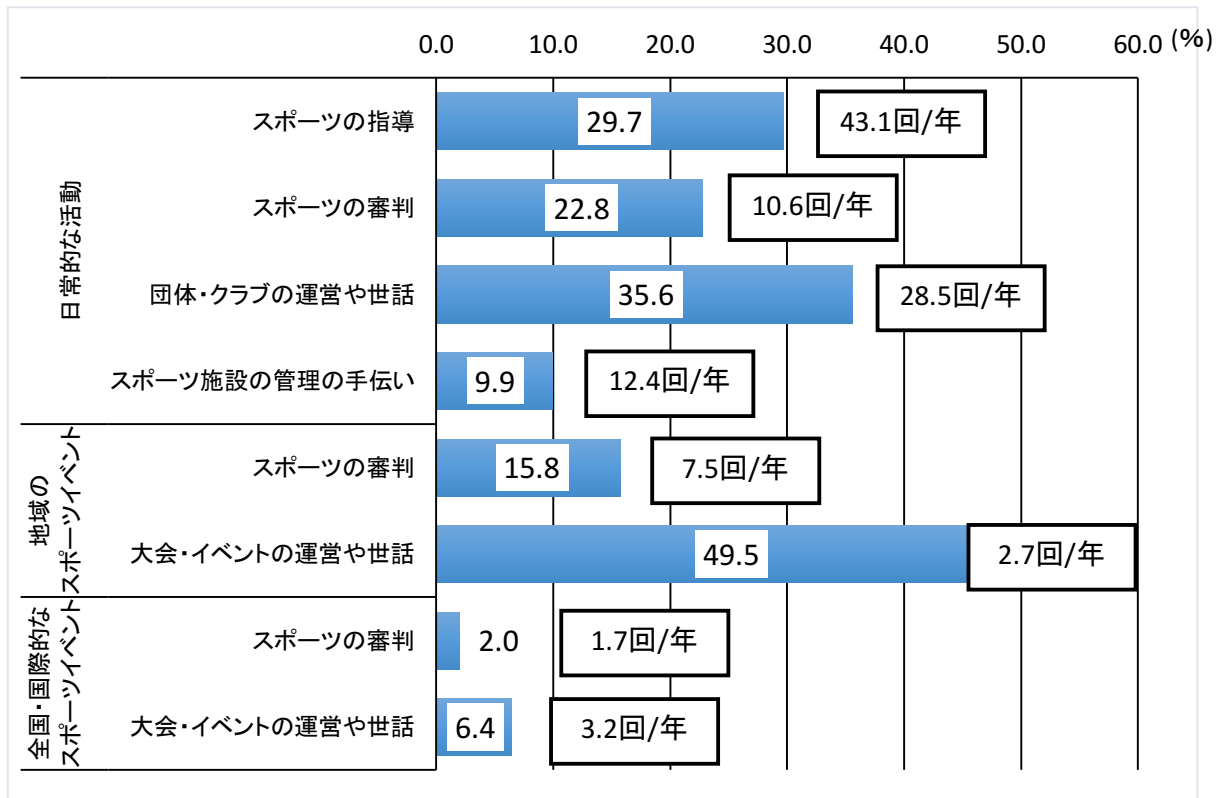
属性別に見ると、性別では、男性において「スポーツの指導」、「スポーツの審判」、「団体・クラブの運営や世話」、がやや高くなっている。年代別では、20代と60代において「スポーツの指導」、「スポーツの審判」がやや高くなっている。所持している修了証、認定証別では、スポーツボランティア・上級リーダー認定証において、「スポーツの指導」、「スポーツの審判」がやや高くなっている。スポーツボランティアを始めてからの経過年数別では、10年以上において「団体・クラブの運営や世話」が、20年以上において「スポーツの指導」、「スポーツの審判」が高くなっている。所持している資格別では、障害者スポーツ系において、「スポーツ指導」、障害者スポーツ系とスポーツ系において「スポーツの審判」、「団体・クラブの運営や世話」がやや高くなっている。(図表2-5)

図表 2-3 スポーツボランティアの活動内容と実施回数（複数回答）



n=583

図表 2-4 『スポーツライフ・データ 2016』における
スポーツボランティアの活動内容と実施回数（複数回答）



n=202

出典：笹川スポーツ財団『スポーツライフ・データ 2016 -スポーツライフに関する調査報告書-』より作成

図表 2-5 属性別スポーツボランティアの活動内容（複数回答）

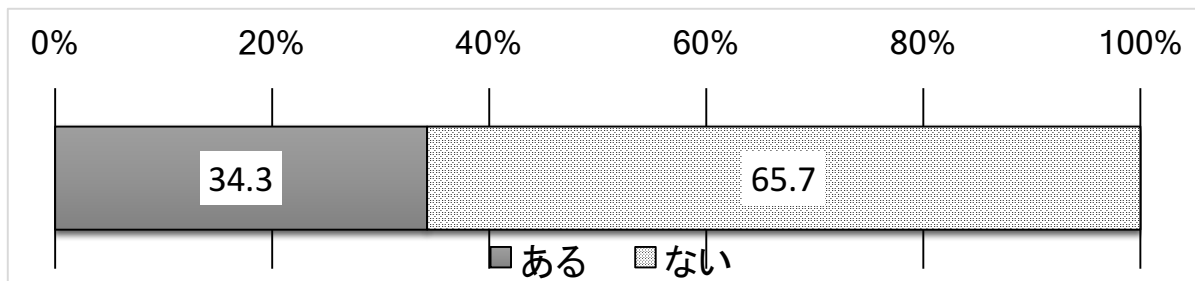
		合計	過去1年における実施スポーツボランティア活動					
			大会、イベントの運営や世話	スポーツの指導	スポーツの審判	団体・クラブの運営や世話	スポーツ施設の管理の手伝い	その他
全体		583 100.0	540 92.6	90 15.4	90 15.4	139 23.8	21 3.6	34 5.8
性別	女性	249 100.0	230 92.4	21 8.4	27 10.8	44 17.7	8 3.2	11 4.4
	男性	334 100.0	310 92.8	69 20.7	63 18.9	95 28.4	13 3.9	23 6.9
年齢	10代	8 100.0	8 100.0	1 12.5	1 12.5	4 50.0	2 25.0	0 0.0
	20代	25 100.0	23 92.0	6 24.0	7 28.0	6 24.0	1 4.0	0 0.0
	30代	45 100.0	43 95.6	4 8.9	5 11.1	4 8.9	0 0.0	0 0.0
	40代	123 100.0	110 89.4	15 12.2	17 13.8	28 22.8	1 0.8	4 3.3
	50代	185 100.0	168 90.8	28 15.1	20 10.8	46 24.9	5 2.7	11 5.9
	60代	156 100.0	148 94.9	32 20.5	34 21.8	42 26.9	8 5.1	14 9.0
	70代以上	41 100.0	40 97.6	4 9.8	6 14.6	9 22.0	4 9.8	5 12.2
所持している修了証、認定証	スポーツボランティア研修会 修了証	384 100.0	355 92.4	48 12.5	48 12.5	84 21.9	11 2.9	25 6.5
	スポーツボランティア・リーダー認定証	225 100.0	209 92.9	44 19.6	35 15.6	63 28.0	12 5.3	14 6.2
	スポーツボランティア・上級リーダー 認定証	42 100.0	39 92.9	13 31.0	18 42.9	13 31.0	3 7.1	2 4.8
	スポーツボランティア・コーディネーター 認定証	4 100.0	4 100.0	0 0.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0
スポーツボランティアを始めてからの経過年数	1年未満	102 100.0	90 88.2	8 7.8	9 8.8	22 21.6	2 2.0	5 4.9
	1～3年未満	135 100.0	127 94.1	13 9.6	13 9.6	23 17.0	2 1.5	6 4.4
	3～5年未満	102 100.0	98 96.1	15 14.7	10 9.8	21 20.6	2 2.0	8 7.8
	5～10年未満	117 100.0	105 89.7	24 20.5	23 19.7	29 24.8	6 5.1	6 5.1
	10～20年未満	106 100.0	101 95.3	22 20.8	26 24.5	36 34.0	8 7.5	8 7.5
	20年以上	21 100.0	19 90.5	8 38.1	9 42.9	8 38.1	1 4.8	1 4.8
所持している資格	教員系	75 100.0	68 90.7	20 26.7	16 21.3	19 25.3	5 6.7	5 6.7
	医療系	42 100.0	38 90.5	8 19.0	9 21.4	12 28.6	0 0.0	2 4.8
	福祉系	49 100.0	41 83.7	13 26.5	8 16.3	16 32.7	2 4.1	5 10.2
	障害者スポーツ系	48 100.0	46 95.8	24 50.0	18 37.5	21 43.8	3 6.3	1 2.1
	スポーツ系	106 100.0	97 91.5	42 39.6	45 42.5	49 46.2	5 4.7	5 4.7

(3) 障害者スポーツに関わるボランティアの実施状況

過去1年間の障害者スポーツに関わるボランティアの実施状況の有無をみると、「ある」が34.3%、「ない」が65.7%となっている。(図表2-6)

属性別にみると、性別では男性においてやや高い実施率となっている。年代別にみると、60代においてやや高い実施率となっている。所持している修了証、認定証別では、「スポーツボランティア・上級リーダー 認定証」において60%以上のやや高い実施率となっているスポーツボランティアを始めてからの経過年数別では、「20年以上」において60%以上の実施率となっている。所持している資格別では、「障害者スポーツ系」において90%以上の高い実施率となっている。(図表2-7)

図表2-6 過去1年間の障害者スポーツに関わるボランティアの実施状況



n=583

図表 2-7 属性別過去1年間の障害者スポーツに関わるボランティアの実施状況

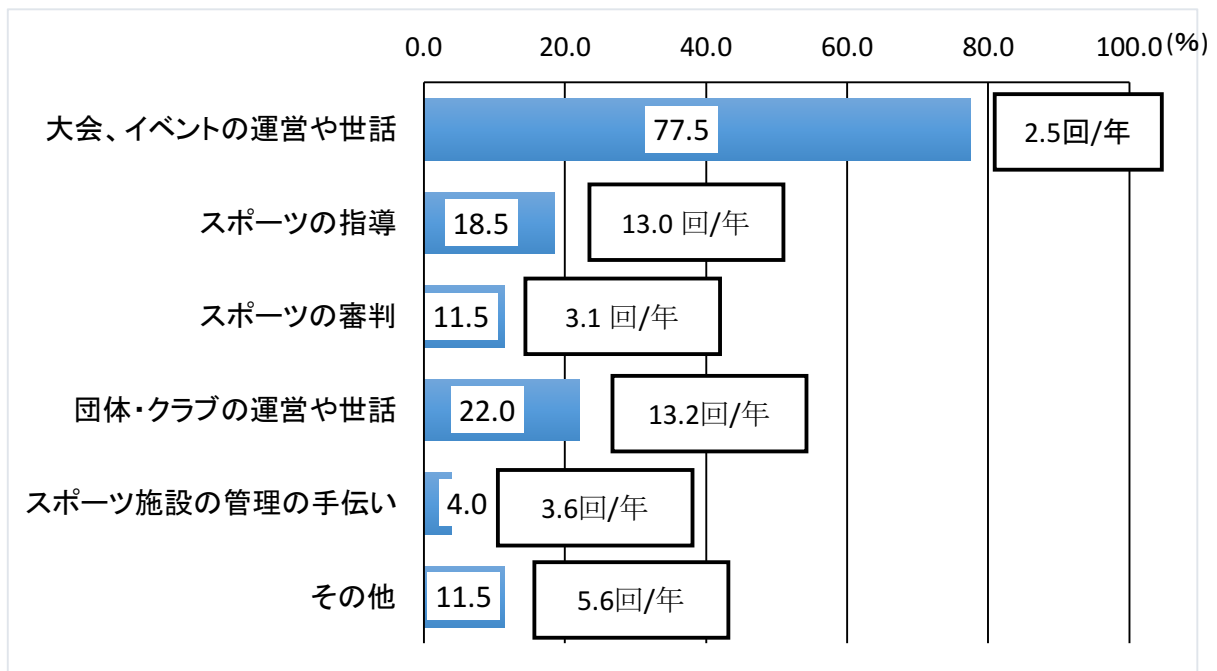
		合計	過去1年における障害者スポーツボランティア活動の有無	
			ある	ない
全体		583 100.0	200 34.3	383 65.7
性別	女性	249 100.0	69 27.7	180 72.3
	男性	334 100.0	131 39.2	203 60.8
年齢	10代	8 100.0	1 12.5	7 87.5
	20代	25 100.0	9 36.0	16 64.0
	30代	45 100.0	12 26.7	33 73.3
	40代	123 100.0	37 30.1	86 69.9
	50代	185 100.0	58 31.4	127 68.6
	60代	156 100.0	69 44.2	87 55.8
	70代以上	41 100.0	14 34.1	27 65.9
所持している 修了証、 認定証	スポーツボランティア研修会 修了証	384 100.0	117 30.5	267 69.5
	スポーツボランティア・リーダー 認定証	225 100.0	93 41.3	132 58.7
	スポーツボランティア・上級リーダー 認定証	42 100.0	27 64.3	15 35.7
	スポーツボランティア・コーディネーター 認定証	4 100.0	2 50.0	2 50.0
スポーツボ ランティア を始めてか らの経過年 数	1年未満	102 100.0	25 24.5	77 75.5
	1～3年未満	135 100.0	37 27.4	98 72.6
	3～5年未満	102 100.0	32 31.4	70 68.6
	5～10年未満	117 100.0	49 41.9	68 58.1
	10～20年未満	106 100.0	43 40.6	63 59.4
	20年以上	21 100.0	14 66.7	7 33.3
所持してい る資格	教員系	75 100.0	35 46.7	40 53.3
	医療系	42 100.0	24 57.1	18 42.9
	福祉系	49 100.0	29 59.2	20 40.8
	障害者スポーツ系	48 100.0	46 95.8	2 4.2
	スポーツ系	106 100.0	55 51.9	51 48.1

(4) 障害者スポーツに関わるボランティアの活動内容

過去1年間の障害者スポーツに関わるボランティアの活動内容をみると、「大会、イベントの運営や世話」が77.5%と最も高く、次いで、「団体・クラブの運営や世話」が22.0%、「スポーツの指導」が18.5%となっている。年間の実施回数では「団体・クラブの運営や世話」が13.2回と最も多く、次いで、「スポーツの指導」が13.0回、「その他」が5.6回となっている。(図表 2-8)

属性別にみると、性別では、男性において「大会、イベントの運営や世話」、「スポーツの指導」、「団体・クラブの運営や世話」がやや高くなっている。年代別では、20代と50代において「団体・クラブの運営や世話」、50代において「スポーツの指導」がやや高くなっている。所持している修了証、認定証別では、スポーツボランティア・上級リーダー認定証において「スポーツの指導」、スポーツボランティア研修会修了証とスポーツボランティア・リーダー修了証において「団体・クラブの運営や世話」がやや高くなっている。スポーツボランティアを始めてからの経過年数別では、10～20年未満において「団体・クラブの運営や世話」、20年以上において「スポーツの指導」がやや高くなっている。所持している資格別では、教員系と障害者スポーツ系において「スポーツの指導」、障害者スポーツ系において「団体・クラブの運営や世話」がやや高くなっている。(図表 2-9)

図表 2-8 障害者スポーツに関わるボランティアの活動内容と実施回数（複数回答）



n=583

図表 2-9 属性別障害者スポーツに関わるボランティアの活動内容（複数回答）

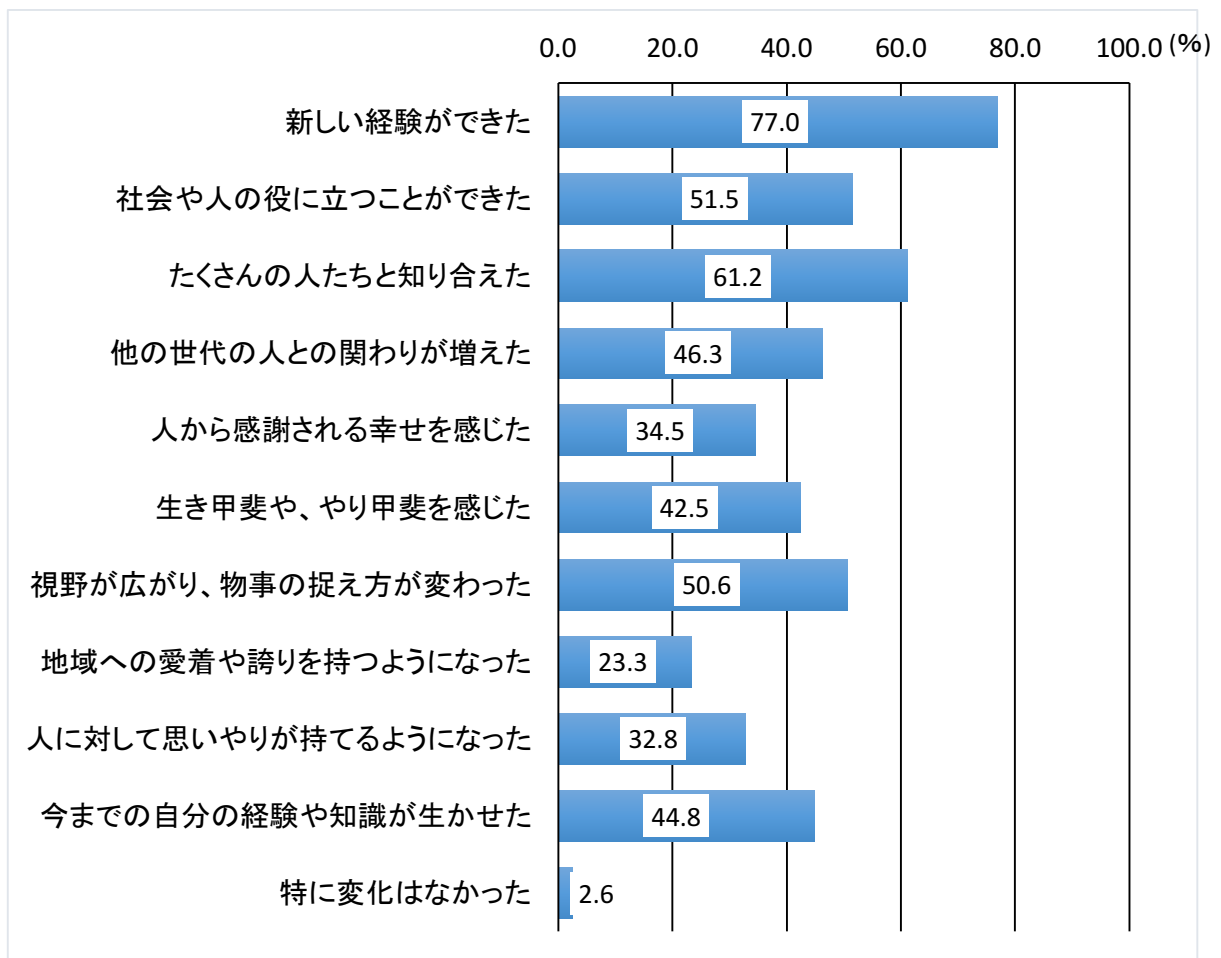
		合計	過去1年における実施障害者スポーツボランティア活動					その他
			大会、イベントの運営や世話	スポーツの指導	スポーツの審判	団体・クラブの運営や世話	スポーツ施設の管理の手伝い	
全体		200 100.0	155 77.5	37 18.5	23 11.5	44 22.0	8 4.0	23 11.5
性別	女性	69 100.0	50 72.5	7 10.1	6 8.7	10 14.5	2 2.9	9 13.0
	男性	131 100.0	105 80.2	30 22.9	17 13.0	34 26.0	6 4.6	14 10.7
年齢	10代	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20代	9 100.0	7 77.8	1 11.1	1 11.1	3 33.3	0 0.0	1 11.1
	30代	12 100.0	10 83.3	1 8.3	1 8.3	3 25.0	0 0.0	0 0.0
	40代	37 100.0	28 75.7	5 13.5	4 10.8	7 18.9	1 2.7	3 8.1
	50代	58 100.0	42 72.4	15 25.9	7 12.1	18 31.0	2 3.4	11 19.0
	60代	69 100.0	57 82.6	12 17.4	10 14.5	12 17.4	4 5.8	6 8.7
	70代以上	14 100.0	10 71.4	3 21.4	0 0.0	1 7.1	1 7.1	2 14.3
	所持している修了証、認定証	スポーツボランティア研修会 修了証	117 100.0	94 80.3	17 14.5	11 9.4	27 23.1	3 2.6
スポーツボランティア・リーダー認定証		93 100.0	72 77.4	19 20.4	8 8.6	23 24.7	4 4.3	7 7.5
スポーツボランティア・上級リーダー 認定証		27 100.0	20 74.1	8 29.6	4 14.8	5 18.5	1 3.7	4 14.8
スポーツボランティア・コーディネーター 認定証		2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
スポーツボランティアを始めてからの経過年数		1年未満	25 100.0	16 64.0	0 0.0	3 12.0	5 20.0	0 0.0
1~3年未満	37 100.0	27 73.0	6 16.2	3 8.1	8 21.6	1 2.7	5 13.5	
3~5年未満	32 100.0	28 87.5	6 18.8	2 6.3	7 21.9	0 0.0	3 9.4	
5~10年未満	49 100.0	36 73.5	10 20.4	7 14.3	9 18.4	2 4.1	4 8.2	
10~20年未満	43 100.0	37 86.0	10 23.3	5 11.6	13 30.2	5 11.6	7 16.3	
20年以上	14 100.0	11 78.6	5 35.7	3 21.4	2 14.3	0 0.0	0 0.0	
所持している資格	教員系	35 100.0	28 80.0	11 31.4	9 25.7	9 25.7	4 11.4	5 14.3
	医療系	24 100.0	19 79.2	3 12.5	3 12.5	5 20.8	0 0.0	2 8.3
	福祉系	29 100.0	23 79.3	7 24.1	2 6.9	5 17.2	1 3.4	5 17.2
	障害者スポーツ系	46 100.0	39 84.8	17 37.0	9 19.6	17 37.0	2 4.3	4 8.7
	スポーツ系	55 100.0	44 80.0	13 23.6	11 20.0	13 23.6	1 1.8	4 7.3

(5) スポーツボランティア活動後の日常生活の変化

スポーツボランティア活動後の日常生活の変化をみると、「新しい経験ができた」が77.0%と最も高く、次いで、「たくさんの人たちと知り合えた」が61.2%、「社会や人の役に立つことができた」が51.5%となっている。(図表 2-10)

属性別に見ると、性別では、女性において「新しい経験ができた」、男性において「社会や人の役に立つことができた」がやや高くなっている。年代別では、10代と20代において「新しい経験ができた」がやや高くなっている。所持している修了証、認定証別では、スポーツボランティア・上級リーダー認定証において、「たくさんの人たちと知り合えた」が9割以上と特に高くなっている。スポーツボランティアを始めてからの経過年数別では、1年未満から5～10年未満において、「新しい経験ができた」がやや高くなっている。所持している資格別では、医療系と障害者スポーツ系において「たくさんの人たちと知り合えた」がやや高くなっている。(図表 2-11)

図表 2-10 スポーツボランティア活動後の日常生活の変化（複数回答）



n=583

図表 2-11 属性別スポーツボランティア活動後の日常生活の変化（複数回答）

		合計	ボランティアを通して変化した生活の内容										
			新しい経験ができた	社会や人の役に立つことができた	たくさんの人たちと知り合えた	他の世代の人との関わりが増えた	人から感謝される幸せを感じた	生き甲斐や、やり甲斐を感じた	視野が広がり、物事の捉え方が変わった	地域への愛着やほこりを持つようになった	人に対して思いやりが持てるようになった	今までの自分の経験や知識が生かされた	特に変化はなかった
全体		583 100.0	449 77.0	300 51.5	357 61.2	270 46.3	201 34.5	248 42.5	295 50.6	136 23.3	191 32.8	261 44.8	15 2.6
性別	女性	249 100.0	202 81.1	115 46.2	147 59.0	113 45.4	81 32.5	102 41.0	128 51.4	50 20.1	74 29.7	102 41.0	8 3.2
	男性	334 100.0	247 74.0	185 55.4	210 62.9	157 47.0	120 35.9	146 43.7	167 50.0	86 25.7	117 35.0	159 47.6	7 2.1
年齢	10代	8 100.0	7 87.5	6 75.0	6 75.0	2 25.0	4 50.0	1 12.5	3 37.5	0 0.0	2 25.0	3 37.5	0 0.0
	20代	25 100.0	22 88.0	13 52.0	13 52.0	14 56.0	9 36.0	9 36.0	13 52.0	4 16.0	7 28.0	11 44.0	1 4.0
	30代	45 100.0	35 77.8	14 31.1	19 42.2	18 40.0	10 22.2	8 17.8	19 42.2	7 15.6	9 20.0	12 26.7	5 11.1
	40代	123 100.0	98 79.7	62 50.4	80 65.0	59 48.0	43 35.0	47 38.2	70 56.9	29 23.6	44 35.8	52 42.3	4 3.3
	50代	185 100.0	151 81.6	98 53.0	117 63.2	86 46.5	66 35.7	84 45.4	98 53.0	50 27.0	62 33.5	89 48.1	1 0.5
	60代	156 100.0	113 72.4	85 54.5	96 61.5	72 46.2	54 34.6	78 50.0	82 52.6	36 23.1	57 36.5	74 47.4	3 1.9
	70代以上	41 100.0	23 56.1	22 53.7	26 63.4	19 46.3	15 36.6	21 51.2	10 24.4	10 24.4	10 24.4	20 48.8	1 2.4
所持している修了証、認定証	スポーツボランティア研修会 修了証	384 100.0	303 78.9	202 52.6	221 57.6	165 43.0	127 33.1	159 41.4	184 47.9	89 23.2	121 31.5	151 39.3	11 2.9
	スポーツボランティア・リーダー 認定証	225 100.0	172 76.4	118 52.4	145 64.4	121 53.8	87 38.7	108 48.0	133 59.1	54 24.0	83 36.9	117 52.0	5 2.2
	スポーツボランティア・上級リーダー 認定証	42 100.0	32 76.2	19 45.2	38 90.5	28 66.7	22 52.4	23 54.8	27 64.3	9 21.4	15 35.7	27 64.3	0 0.0
	スポーツボランティア・コーディネーター 認定証	4 100.0	4 100.0	2 50.0	3 75.0	4 100.0	2 50.0	2 50.0	4 100.0	2 50.0	2 50.0	3 75.0	0 0.0
スポーツボランティアを始めてからの経過年数	1年未満	102 100.0	82 80.4	43 42.2	46 45.1	30 29.4	23 22.5	23 22.5	28 27.5	16 15.7	20 19.6	29 28.4	6 5.9
	1～3年未満	135 100.0	107 79.3	74 54.8	71 52.6	44 32.6	40 29.6	51 37.8	62 45.9	22 16.3	42 31.1	53 39.3	3 2.2
	3～5年未満	102 100.0	83 81.4	59 57.8	62 60.8	55 53.9	36 35.3	52 51.0	60 58.8	27 26.5	36 35.3	46 45.1	0 0.0
	5～10年未満	117 100.0	92 78.6	55 47.0	83 70.9	65 55.6	44 37.6	59 50.4	76 65.0	38 32.5	48 41.0	66 56.4	2 1.7
	10～20年未満	106 100.0	73 68.9	57 53.8	81 76.4	62 58.5	47 44.3	50 47.2	58 54.7	27 25.5	36 34.0	53 50.0	4 3.8
	20年以上	21 100.0	12 57.1	12 57.1	14 66.7	14 66.7	11 52.4	13 61.9	11 52.4	6 28.6	9 42.9	14 66.7	0 0.0
	所持している資格	教員系	75 100.0	55 73.3	39 52.0	48 64.0	31 41.3	29 38.7	33 44.0	42 56.0	12 16.0	29 38.7	41 54.7
医療系		42 100.0	32 76.2	15 35.7	31 73.8	17 40.5	16 38.1	20 47.6	28 66.7	13 31.0	17 40.5	25 59.5	0 0.0
福祉系		49 100.0	37 75.5	21 42.9	30 61.2	24 49.0	20 40.8	24 49.0	27 55.1	16 32.7	20 40.8	25 51.0	1 2.0
障害者スポーツ系		48 100.0	33 68.8	25 52.1	38 79.2	29 60.4	19 39.6	27 56.3	33 68.8	16 33.3	23 47.9	27 56.3	1 2.1
スポーツ系		106 100.0	70 66.0	63 59.4	74 69.8	59 55.7	43 40.6	53 50.0	62 58.5	39 36.8	43 40.6	69 65.1	4 3.8

2.2 スポーツボランティア実施希望

(1) スポーツボランティアの実施希望率

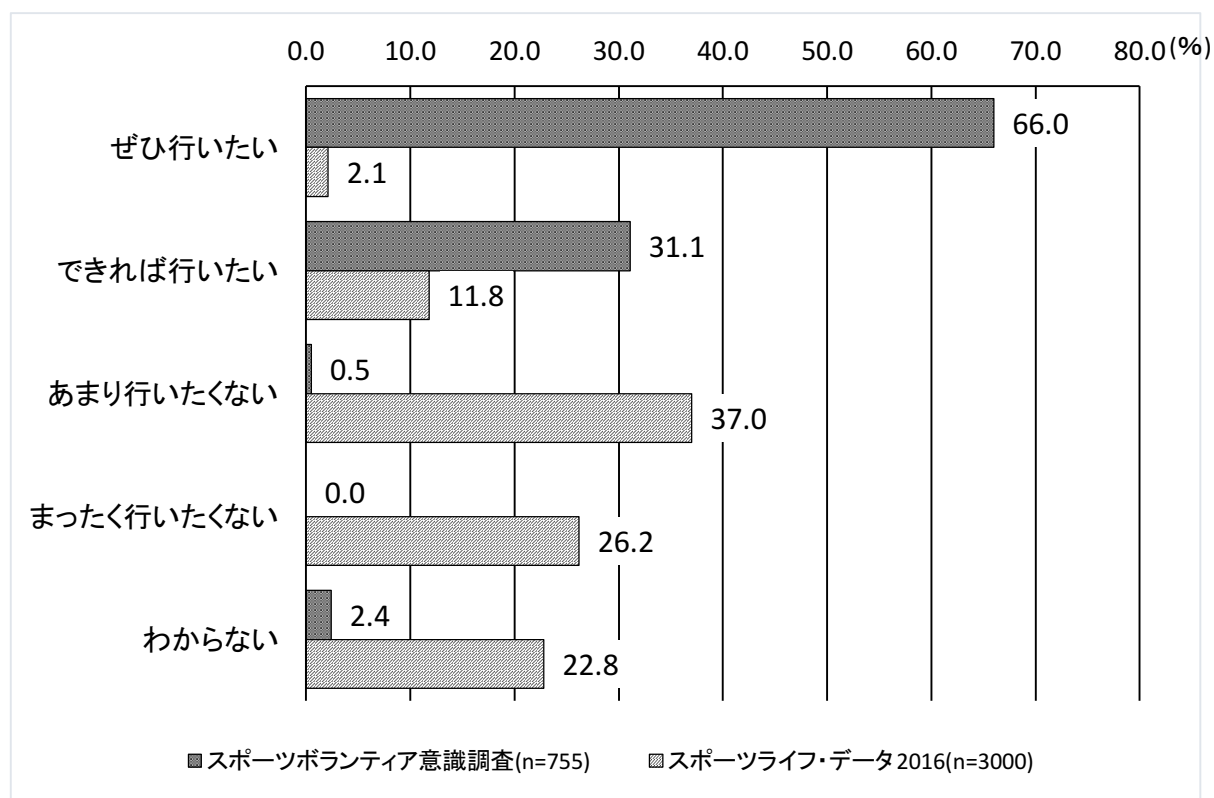
今後のスポーツボランティア活動希望をみると、「ぜひ行いたい」が66.0%と最も高く、次いで、「できれば行いたい」が31.1%、「あまり行いたくない」が0.5%となっており、「ぜひ行いたい」と「できれば行いたい」を合わせると、9割以上が今後の継続を希望している。(図表 2-12)

笹川スポーツ財団の『スポーツライフ・データ 2016』における今後のスポーツボランティアの実施希望率をみると、「行いたい」(「ぜひ行いたい」+「できれば行いたい」)が全体で13.9%(「ぜひ行いたい」2.1%+「できれば行いたい」11.8%)となっている。一方で、本調査では「行いたい」が全体の97.1%(「ぜひ行いたい」66.0%+「できれば行いたい」31.1%)となっており、大きく異なる結果となった。(図表 2-12)

属性別にみると、年代別では、10代と70代以上において「ぜひ行いたい」が他の年代に比べて低くなっている。所持している修了証、認定証別では、スポーツボランティア・上級リーダー認定証とスポーツボランティア・コーディネーター認定証において「ぜひ行いたい」が8割以上と高くなっている。スポーツボランティアを始めてからの経過年数別では、1年未満において「ぜひ行いたい」が48.1%と低くなっている。

(図表 2-13)

図表 2-12 今後のスポーツボランティアの実施希望



図表 2-13 属性別今後のスポーツボランティアの実施希望

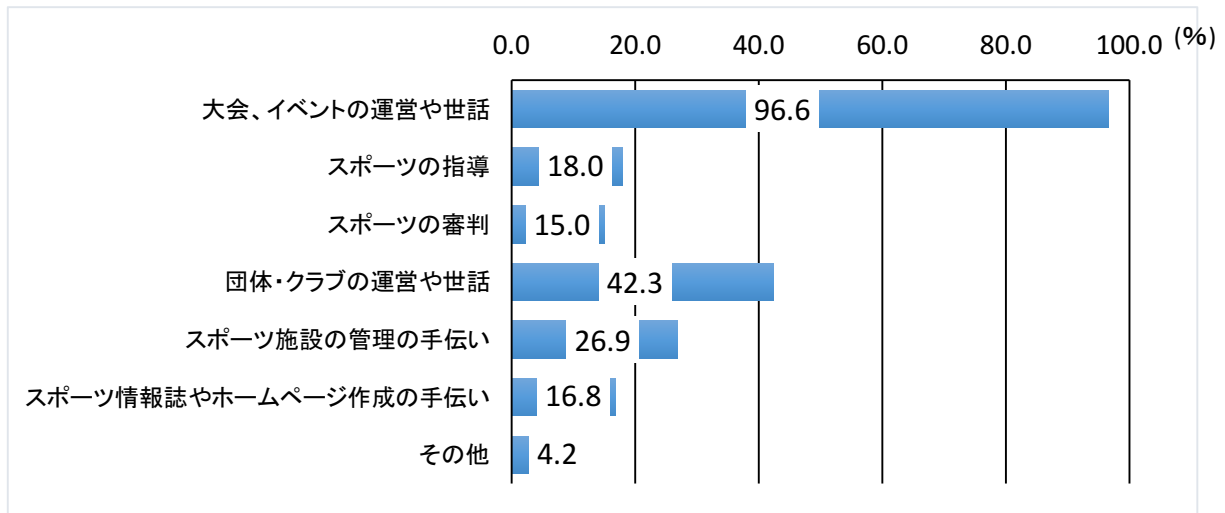
		合計	今後スポーツに関わるボランティア活動を行いたいのか				
			ぜひ行いたい	できれば行いたい	あまり行いたくない	まったく行いたくない	わからない
全体		755 100.0	498 66.0	235 31.1	4 0.5	0 0.0	18 2.4
性別	女性	340 100.0	235 69.1	96 28.2	2 0.6	0 0.0	7 2.1
	男性	415 100.0	263 63.4	139 33.5	2 0.5	0 0.0	11 2.7
年齢	10代	11 100.0	5 45.5	6 54.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20代	38 100.0	19 50.0	18 47.4	1 2.6	0 0.0	0 0.0
	30代	62 100.0	37 59.7	22 35.5	0 0.0	0 0.0	3 4.8
	40代	163 100.0	117 71.8	41 25.2	0 0.0	0 0.0	5 3.1
	50代	245 100.0	166 67.8	72 29.4	2 0.8	0 0.0	5 2.0
	60代	183 100.0	129 70.5	51 27.9	1 0.5	0 0.0	2 1.1
	70代以上	53 100.0	25 47.2	25 47.2	0 0.0	0 0.0	3 5.7
所持している 修了証、 認定証	スポーツボランティア研修会 修了証	535 100.0	344 64.3	172 32.1	3 0.6	0 0.0	16 3.0
	スポーツボランティア・リーダー 認定証	250 100.0	186 74.4	59 23.6	0 0.0	0 0.0	5 2.0
	スポーツボランティア・上級リーダー 認定証	44 100.0	39 88.6	5 11.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	スポーツボランティア・コーディネーター 認定証	4 100.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
スポーツボ ランティア を始めてか らの経過年 数	1年未満	216 100.0	104 48.1	101 46.8	1 0.5	0 0.0	10 4.6
	1～3年未満	162 100.0	114 70.4	45 27.8	2 1.2	0 0.0	1 0.6
	3～5年未満	114 100.0	90 78.9	22 19.3	1 0.9	0 0.0	1 0.9
	5～10年未満	131 100.0	93 71.0	35 26.7	0 0.0	0 0.0	3 2.3
	10～20年未満	111 100.0	82 73.9	26 23.4	0 0.0	0 0.0	3 2.7
	20年以上	21 100.0	15 71.4	6 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	所持してい る資格	教員系	111 100.0	70 63.1	38 34.2	1 0.9	0 0.0
医療系		48 100.0	41 85.4	7 14.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
福祉系		62 100.0	45 72.6	17 27.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0
障害者スポーツ系		52 100.0	38 73.1	14 26.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0
スポーツ系		123 100.0	82 66.7	33 26.8	1 0.8	0 0.0	7 5.7

(2) スポーツボランティアの希望活動内容

今後のスポーツボランティア活動希望内容を見ると、「大会、イベントの運営や世話」が96.6%と最も高く、次いで、「団体・クラブの運営や世話」が42.3%、「スポーツ施設の管理の手伝い」が26.9%となっている。(図表 2-14)

属性別に見ると、性別では、男性において「スポーツの指導」、「スポーツの審判」がやや高くなっている。年代別では、10代と20代において「スポーツの指導」、20代において「団体・クラブの運営や世話」がやや高くなっている。所持している修了証、認定証別では、スポーツボランティア・上級リーダー認定証とスポーツボランティア・コーディネーター認定証全てが「大会、イベントの運営や世話」、スポーツボランティア・コーディネーター認定証全てが「団体・クラブの運営や世話」と特に高くなっている。スポーツボランティアを始めてからの経過年数別では、20年以上において「スポーツの審判」、「団体・クラブの運営や世話」がやや高くなっている。所持している資格別では、医療系と障害者スポーツ系、スポーツ系において「団体・クラブの運営や世話」がやや高くなっている。また、障害者スポーツ系において「スポーツの指導」、福祉系において「スポーツ情報誌やホームページ作成の手伝い」がやや高くなっている。(図表 2-15)

図表 2-14 今後のスポーツボランティアの実施希望内容



n=733

図表 2-15 属性別今後のスポーツボランティアの実施希望内容

		合計	今後行いたいスポーツボランティアの種類						
			大会、イベントの運営や世話	スポーツの指導	スポーツの審判	団体・クラブの運営や世話	スポーツ施設の管理の手伝い	スポーツ情報誌やホームページ作成の手伝い	その他
全体		733 100.0	708 96.6	132 18.0	110 15.0	310 42.3	197 26.9	123 16.8	31 4.2
性別	女性	331 100.0	322 97.3	36 10.9	36 10.9	138 41.7	82 24.8	62 18.7	12 3.6
	男性	402 100.0	386 96.0	96 23.9	74 18.4	172 42.8	115 28.6	61 15.2	19 4.7
年齢	10代	11 100.0	10 90.9	4 36.4	1 9.1	5 45.5	4 36.4	1 9.1	1 9.1
	20代	37 100.0	33 89.2	13 35.1	5 13.5	20 54.1	4 10.8	8 21.6	0 0.0
	30代	59 100.0	55 93.2	12 20.3	11 18.6	27 45.8	13 22.0	13 22.0	1 1.7
	40代	158 100.0	155 98.1	28 17.7	31 19.6	65 41.1	34 21.5	31 19.6	2 1.3
	50代	238 100.0	232 97.5	34 14.3	30 12.6	103 43.3	86 36.1	45 18.9	11 4.6
	60代	180 100.0	174 96.7	36 20.0	29 16.1	74 41.1	42 23.3	22 12.2	13 7.2
	70代以上	50 100.0	49 98.0	5 10.0	3 6.0	16 32.0	14 28.0	3 6.0	3 6.0
	所持している修了証、認定証	スポーツボランティア研修会 修了証	516 100.0	496 96.1	76 14.7	57 11.0	225 43.6	134 26.0	90 17.4
スポーツボランティア・リーダー 認定証		245 100.0	241 98.4	59 24.1	58 23.7	108 44.1	72 29.4	44 18.0	9 3.7
スポーツボランティア・上級リーダー 認定証		44 100.0	44 100.0	11 25.0	14 31.8	21 47.7	11 25.0	6 13.6	0 0.0
スポーツボランティア・コーディネーター 認定証		4 100.0	4 100.0	0 0.0	2 50.0	4 100.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0
スポーツボランティアを始めてからの経過年数	1年未満	205 100.0	192 93.7	37 18.0	21 10.2	86 42.0	49 23.9	33 16.1	8 3.9
	1～3年未満	159 100.0	155 97.5	20 12.6	16 10.1	59 37.1	41 25.8	29 18.2	7 4.4
	3～5年未満	112 100.0	111 99.1	17 15.2	15 13.4	54 48.2	38 33.9	26 23.2	2 1.8
	5～10年未満	128 100.0	126 98.4	27 21.1	29 22.7	49 38.3	38 29.7	14 10.9	5 3.9
	10～20年未満	108 100.0	104 96.3	21 19.4	22 20.4	48 44.4	28 25.9	15 13.9	8 7.4
	20年以上	21 100.0	20 95.2	10 47.6	7 33.3	14 66.7	3 14.3	6 28.6	1 4.8
	所持している資格	教員系	108 100.0	101 93.5	22 20.4	15 13.9	45 41.7	24 22.2	18 16.7
医療系		48 100.0	46 95.8	13 27.1	10 20.8	28 58.3	13 27.1	7 14.6	3 6.3
福祉系		62 100.0	59 95.2	13 21.0	10 16.1	30 48.4	21 33.9	19 30.6	6 9.7
障害者スポーツ系		52 100.0	49 94.2	29 55.8	17 32.7	30 57.7	13 25.0	11 21.2	5 9.6
スポーツ系		115 100.0	111 96.5	53 46.1	41 35.7	65 56.5	29 25.2	22 19.1	4 3.5

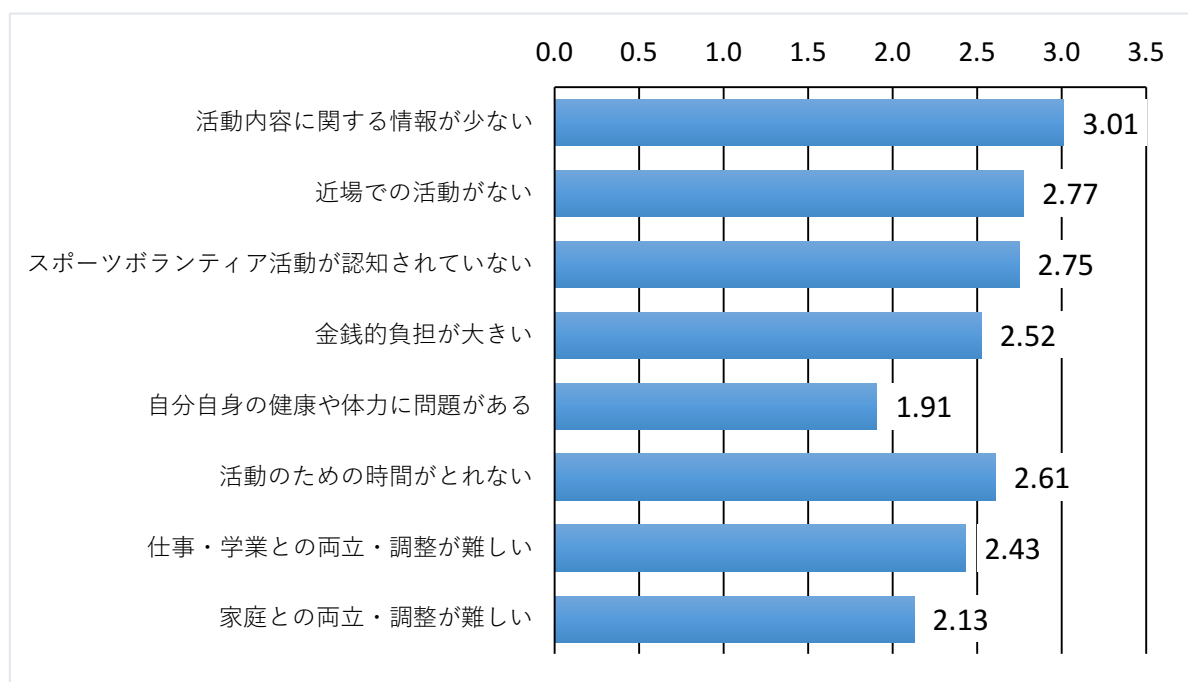
2.3 スポーツボランティア実施の問題・課題

(1) スポーツボランティア活動における課題

スポーツボランティア活動を行う・新たに始めるうえでの課題について、8の項目に「4. 課題である」「3. やや課題である」「2. あまり課題ではない」「1. 課題ではない」の4段階で尋ねた。（平均値が高いほど、課題であることを示している。）平均値では、「活動内容に関する情報が少ない」が3.01と最も高く、次いで、「近場での活動がない」が2.77、「スポーツボランティア活動が認知されていない」が2.75となっている。（図表2-16）

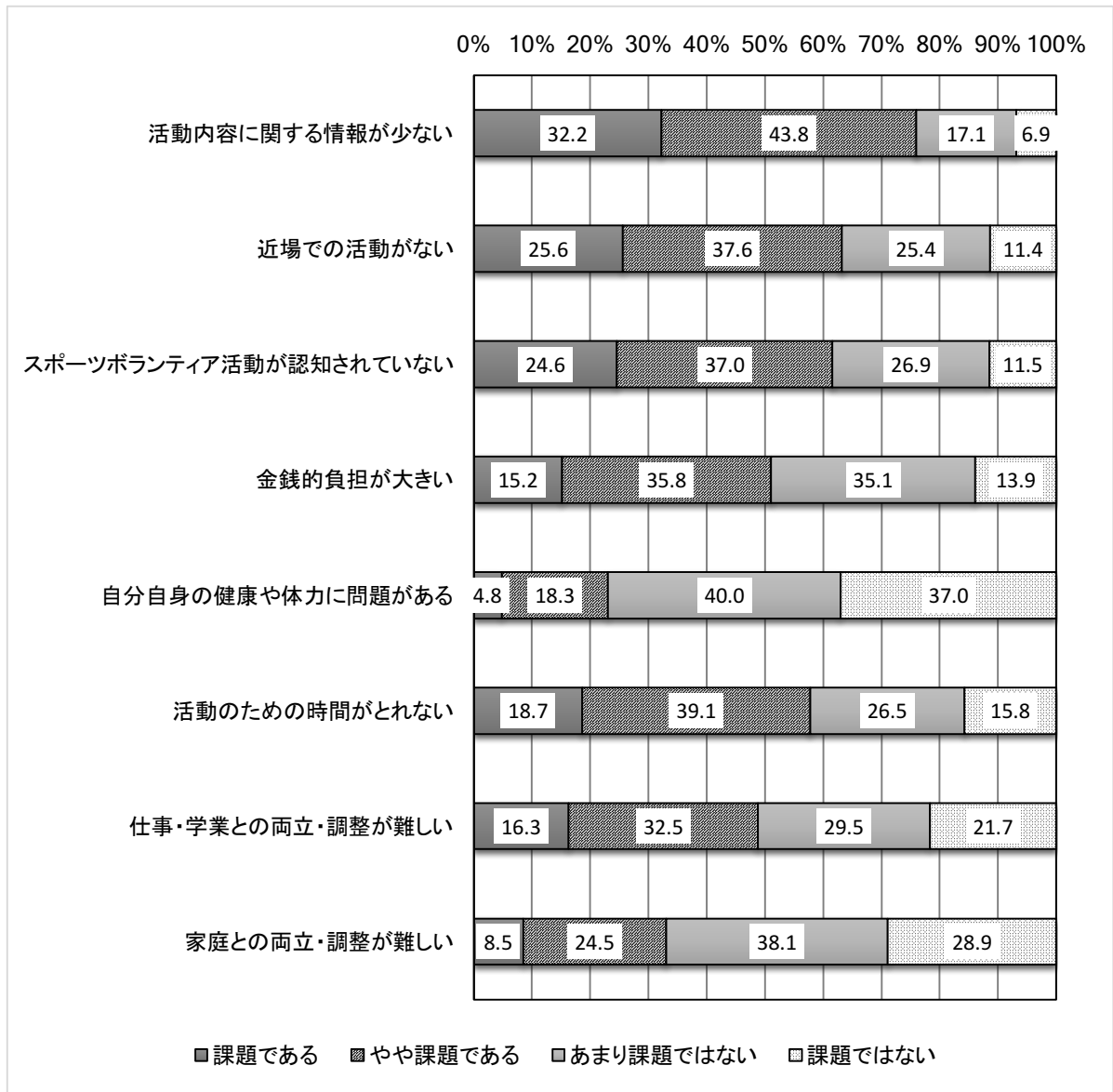
「4. 課題である」への回答は「活動内容に関する情報が少ない」が32.2%と最も高く、次いで、「近場での活動がない」が25.6%、「スポーツボランティア活動が認知されていない」が24.6%となっている。（図表2-17）

図表2-16 スポーツボランティア活動における課題の平均値



n=755

図表 2-17 スポーツボランティア活動における課題



n=755

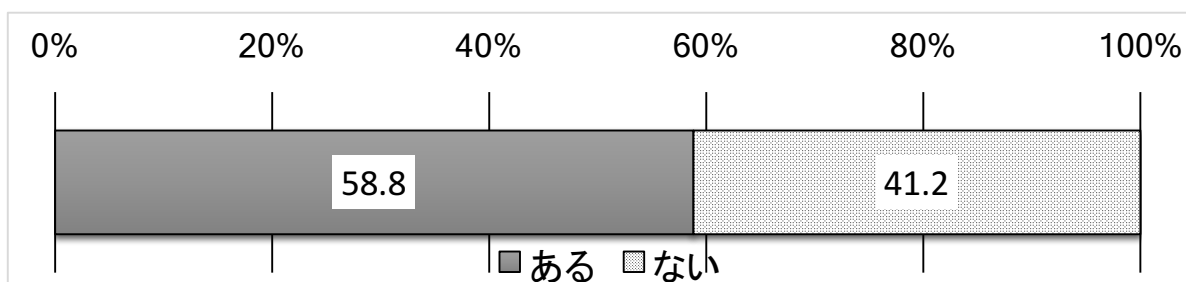
2.4 スポーツ以外のボランティア活動内容

(1) スポーツ以外のボランティア活動の実施状況

スポーツ以外のボランティア活動の実施状況をみると、「はい」が 58.8%、「いいえ」が 41.2%となっている。(図表 2-18)

属性別に見ると、年代別では、60代以上において6割以上が「はい」と回答している。所持している修了証、認定証別では、スポーツボランティア・上級リーダー認定証とスポーツボランティア・コーディネーター認定証において7割以上が「はい」と回答している。スポーツボランティアを始めてからの経過年数では、10年以上において7割以上が「はい」と回答している。(図表 2-19)

図表 2-18 スポーツ以外のボランティア活動の実施状況



n=754

図表 2-19 属性別スポーツ以外のボランティア活動の実施状況

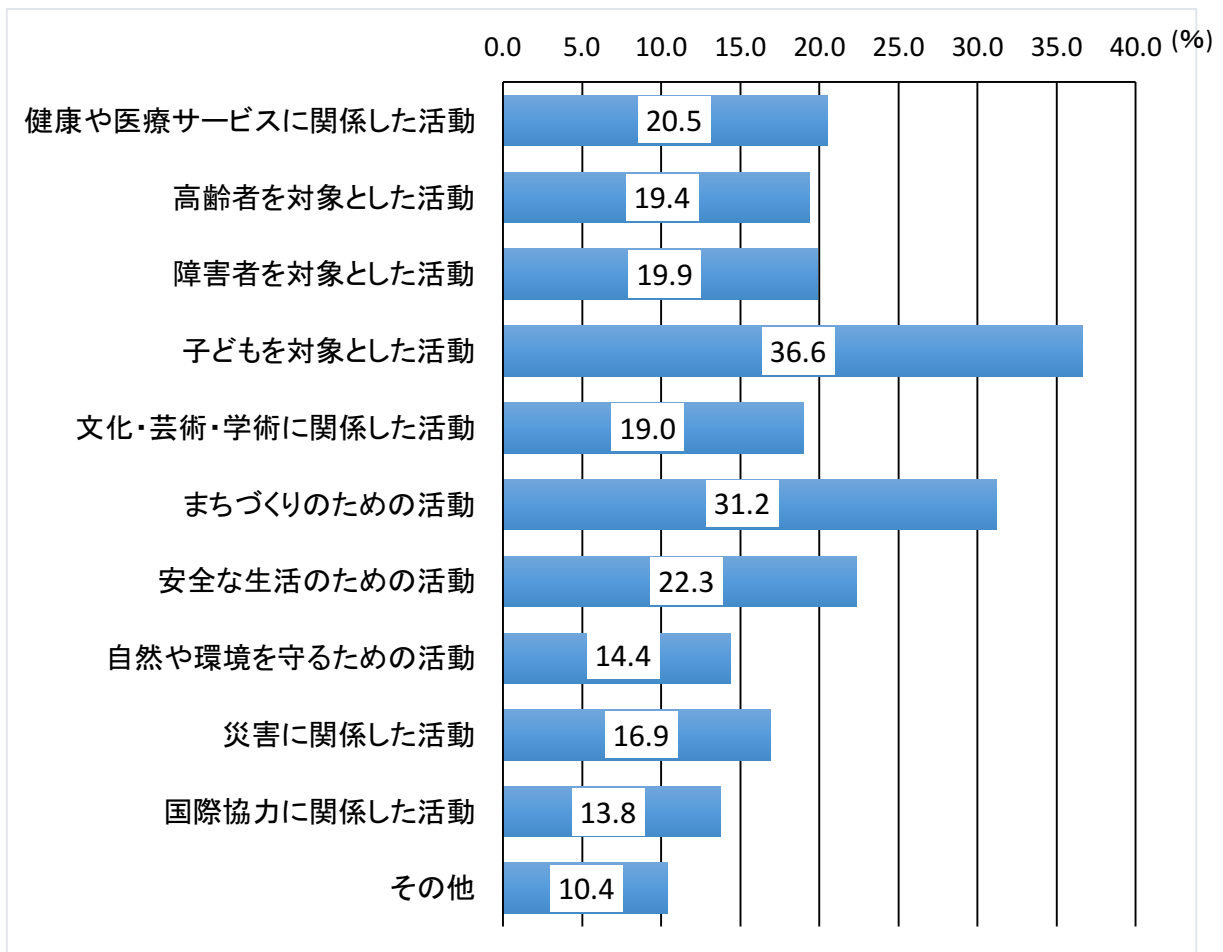
		合計	過去1年におけるスポーツボランティア以外の活動の有無	
			ある	ない
全体		754 100.0	443 58.8	311 41.2
性別	女性	340 100.0	191 56.2	149 43.8
	男性	414 100.0	252 60.9	162 39.1
年齢	10代	11 100.0	6 54.5	5 45.5
	20代	38 100.0	21 55.3	17 44.7
	30代	62 100.0	34 54.8	28 45.2
	40代	162 100.0	95 58.6	67 41.4
	50代	245 100.0	140 57.1	105 42.9
	60代	183 100.0	112 61.2	71 38.8
	70代以上	53 100.0	35 66.0	18 34.0
所持している 修了証、 認定証	スポーツボランティア研修会 修了証	534 100.0	304 56.9	230 43.1
	スポーツボランティア・リーダー 認定証	250 100.0	160 64.0	90 36.0
	スポーツボランティア・上級リーダー 認定証	44 100.0	35 79.5	9 20.5
	スポーツボランティア・コーディネーター 認定証	4 100.0	4 100.0	0 0.0
スポーツボ ランティア を始めてか らの経過年 数	1年未満	216 100.0	100 46.3	116 53.7
	1～3年未満	162 100.0	97 59.9	65 40.1
	3～5年未満	114 100.0	65 57.0	49 43.0
	5～10年未満	131 100.0	82 62.6	49 37.4
	10～20年未満	110 100.0	82 74.5	28 25.5
	20年以上	21 100.0	17 81.0	4 19.0
所持してい る資格	教員系	111 100.0	75 67.6	36 32.4
	医療系	48 100.0	34 70.8	14 29.2
	福祉系	62 100.0	45 72.6	17 27.4
	障害者スポーツ系	52 100.0	40 76.9	12 23.1
	スポーツ系	123 100.0	89 72.4	34 27.6

(2) スポーツ以外のボランティア活動の内容

スポーツ以外のボランティア活動の内容をみると、「子どもを対象とした活動」が36.6%と最も高く、次いで、「まちづくりのための活動」が31.2%、「安全な生活のための活動」が22.3%となっている。(図表 2-20)

性別では、女性において「災害に関係した活動」「国際協力に関係した活動」がやや高く、男性において「まちづくりのための活動」「安全な生活のための活動」「自然や環境を守るための活動」がやや高かった。年代別では、30代において、「健康や医療サービスに関係した活動」がやや高くなっている。所持している修了証、認定証別では、スポーツボランティア・上級リーダー認定証において「子どもを対象とした活動」「安全な生活のための活動」がやや高く、スポーツボランティア・上級リーダー認定証とスポーツボランティア・コーディネーター認定証において「まちづくりのための活動」がやや高くなっている。スポーツボランティアを始めてからの経過年数別では、20年以上において「子どもを対象とした活動」「まちづくりのための活動」やや高くなっている。(図表 2-21)

図表 2-20 スポーツ以外のボランティア活動の内容



図表 2-21 属性別スポーツ以外のボランティア活動の内容

		合計	スポーツボランティア以外に行った活動の種類										
			健康や医療サービスに関係した活動	高齢者を対象とした活動	障害者を対象とした活動	子どもを対象とした活動	文化・芸術・学術に関係した活動	まちづくりの活動	安全な生活のための活動	自然や環境を守るための活動	災害に関係した活動	国際協力に関係した活動	その他
全体		443	91	86	88	162	84	138	99	64	75	61	46
		100.0	20.5	19.4	19.9	36.6	19.0	31.2	22.3	14.4	16.9	13.8	10.4
性別	女性	191	40	42	38	70	34	43	28	18	39	34	14
		100.0	20.9	22.0	19.9	36.6	17.8	22.5	14.7	9.4	20.4	17.8	7.3
男性		252	51	44	50	92	50	95	71	46	36	27	32
		100.0	20.2	17.5	19.8	36.5	19.8	37.7	28.2	18.3	14.3	10.7	12.7
年齢	10代	6	0	3	2	3	1	3	0	0	0	3	0
		100.0	0.0	50.0	33.3	50.0	16.7	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	20代	21	5	3	2	9	2	5	2	3	1	3	0
		100.0	23.8	14.3	9.5	42.9	9.5	23.8	9.5	14.3	4.8	14.3	0.0
	30代	34	12	2	0	6	5	10	6	4	9	4	3
		100.0	35.3	5.9	0.0	17.6	14.7	29.4	17.6	11.8	26.5	11.8	8.8
	40代	95	22	12	19	35	12	25	14	12	22	13	8
		100.0	23.2	12.6	20.0	36.8	12.6	26.3	14.7	12.6	23.2	13.7	8.4
50代	140	28	26	37	60	30	49	31	21	21	19	20	
	100.0	20.0	18.6	26.4	42.9	21.4	35.0	22.1	15.0	15.0	13.6	14.3	
60代	112	22	28	23	32	24	33	27	16	15	17	13	
	100.0	19.6	25.0	20.5	28.6	21.4	29.5	24.1	14.3	13.4	15.2	11.6	
70代以上	35	2	12	5	17	10	13	19	8	7	2	2	
	100.0	5.7	34.3	14.3	48.6	28.6	37.1	54.3	22.9	20.0	5.7	5.7	
所持している修了証、認定証	スポーツボランティア研修会 修了証	304	60	61	51	110	60	90	60	40	49	49	34
		100.0	19.7	20.1	16.8	36.2	19.7	29.6	19.7	13.2	16.1	16.1	11.2
	スポーツボランティア・リーダー 認定証	160	35	28	34	52	30	48	47	26	32	17	11
		100.0	21.9	17.5	21.3	32.5	18.8	30.0	29.4	16.3	20.0	10.6	6.9
スポーツボランティア・上級リーダー 認定証	35	9	9	9	15	3	17	18	5	5	4	3	
	100.0	25.7	25.7	25.7	42.9	8.6	48.6	51.4	14.3	14.3	11.4	8.6	
スポーツボランティア・コーディネーター 認定証	4	1	0	0	1	0	2	1	0	0	0	0	
	100.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
スポーツボランティアを始めてからの経過年数	1年未満	100	17	22	14	30	20	29	12	9	13	14	13
		100.0	17.0	22.0	14.0	30.0	20.0	29.0	12.0	9.0	13.0	14.0	13.0
	1～3年未満	97	17	15	16	40	20	24	18	11	14	15	10
		100.0	17.5	15.5	16.5	41.2	20.6	24.7	18.6	11.3	14.4	15.5	10.3
	3～5年未満	65	14	10	14	22	17	24	17	16	13	9	6
		100.0	21.5	15.4	21.5	33.8	26.2	36.9	26.2	24.6	20.0	13.8	9.2
	5～10年未満	82	18	16	18	32	16	24	20	17	17	10	6
	100.0	22.0	19.5	22.0	39.0	19.5	29.3	24.4	20.7	20.7	12.2	7.3	
10～20年未満	82	20	19	22	29	10	28	27	10	17	12	9	
	100.0	24.4	23.2	26.8	35.4	12.2	34.1	32.9	12.2	20.7	14.6	11.0	
20年以上	17	5	4	4	9	1	9	5	1	1	1	2	
	100.0	29.4	23.5	23.5	52.9	5.9	52.9	29.4	5.9	5.9	5.9	11.8	
所持している資格	教員系	75	13	19	15	36	17	29	12	9	11	14	4
		100.0	17.3	25.3	20.0	48.0	22.7	38.7	16.0	12.0	14.7	18.7	5.3
	医療系	34	21	11	13	13	5	9	15	7	8	8	2
		100.0	61.8	32.4	38.2	38.2	14.7	26.5	44.1	20.6	23.5	23.5	5.9
	福祉系	45	11	20	19	23	7	16	15	9	10	6	3
		100.0	24.4	44.4	42.2	51.1	15.6	35.6	33.3	20.0	22.2	13.3	6.7
障害者スポーツ系	40	11	13	20	23	4	14	10	6	6	5	1	
	100.0	27.5	32.5	50.0	57.5	10.0	35.0	25.0	15.0	15.0	12.5	2.5	
スポーツ系	89	26	20	18	38	15	31	22	14	10	10	6	
	100.0	29.2	22.5	20.2	42.7	16.9	34.8	24.7	15.7	11.2	11.2	6.7	

2.5 今後開催されるビッグスポーツイベントのボランティアへの参加意向

(1) 東京オリンピックのボランティアへの参加意向

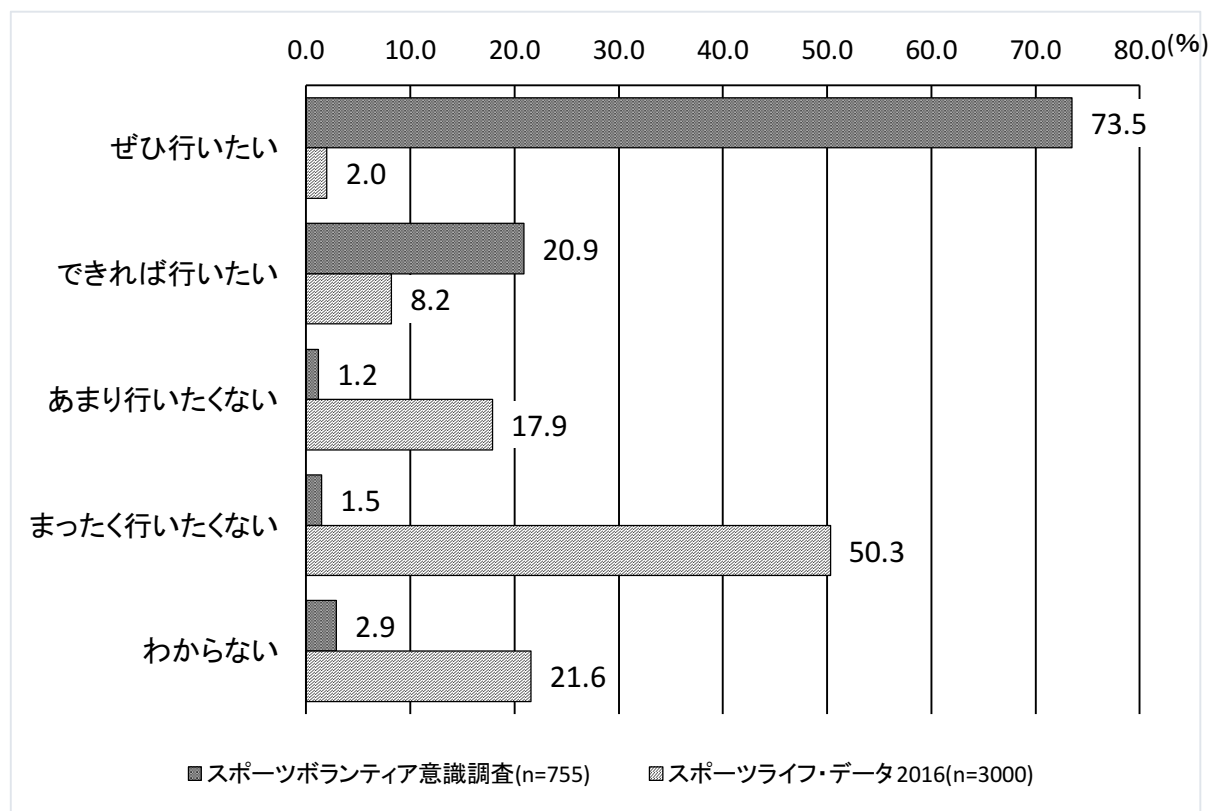
2020年東京オリンピックのボランティアへの参加意向をみると、「ぜひ行きたい」が73.5%、次いで、「できれば行きたい」が20.9%、「わからない」が2.9%となっている。

(図表 2-22)

笹川スポーツ財団の『スポーツライフ・データ 2016』における東京オリンピックでのボランティア実施希望率をみると、「ぜひ行きたい」が2.0%、「できれば行きたい」が8.2%となっており、「まったく行いたくない」が50.3%と約半数を占めている。この結果と比較すると、本調査における東京オリンピックのボランティアへの参加意向は非常に高い傾向にあると考えられる。(図表 2-22)

属性別に見ると、性別では女性において「ぜひ行きたい」がやや高かった。年代別では、50代において「ぜひ行きたい」が8割以上と高くなっている。所持している修了証、認定証別ではスポーツボランティア・上級リーダー認定証において「ぜひ行きたい」が8割以上と高くなっている。所持している資格別では、医療系において「ぜひ行きたい」が8割以上と高くなっている。(図表 2-23)

図表 2-22 東京オリンピックのボランティアへの参加意向



図表 2-23 属性別東京オリンピックのボランティアへの参加意向

		合計	東京オリンピックでボランティア活動を行いたい				
			ぜひ行いたい	できれば行いたい	あまり行いたくない	まったく行いたくない	わからない
全体		755 100.0	555 73.5	158 20.9	9 1.2	11 1.5	22 2.9
性別	女性	340 100.0	267 78.5	57 16.8	3 0.9	3 0.9	10 2.9
	男性	415 100.0	288 69.4	101 24.3	6 1.4	8 1.9	12 2.9
年齢	10代	11 100.0	7 63.6	4 36.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20代	38 100.0	25 65.8	11 28.9	0 0.0	1 2.6	1 2.6
	30代	62 100.0	45 72.6	11 17.7	1 1.6	1 1.6	4 6.5
	40代	163 100.0	121 74.2	34 20.9	1 0.6	2 1.2	5 3.1
	50代	245 100.0	200 81.6	40 16.3	0 0.0	2 0.8	3 1.2
	60代	183 100.0	130 71.0	38 20.8	6 3.3	3 1.6	6 3.3
	70代以上	53 100.0	27 50.9	20 37.7	1 1.9	2 3.8	3 5.7
所持している 修了証、 認定証	スポーツボランティア研修会 修了証	535 100.0	396 74.0	107 20.0	8 1.5	7 1.3	17 3.2
	スポーツボランティア・リーダー 認定証	250 100.0	185 74.0	53 21.2	1 0.4	5 2.0	6 2.4
	スポーツボランティア・上級リーダー 認定証	44 100.0	36 81.8	7 15.9	0 0.0	0 0.0	1 2.3
	スポーツボランティア・コーディネーター 認定証	4 100.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
スポーツボ ランティア を始めてから の経過年 数	1年未満	216 100.0	156 72.2	44 20.4	3 1.4	6 2.8	7 3.2
	1～3年未満	162 100.0	129 79.6	30 18.5	0 0.0	1 0.6	2 1.2
	3～5年未満	114 100.0	87 76.3	21 18.4	3 2.6	2 1.8	1 0.9
	5～10年未満	131 100.0	94 71.8	27 20.6	1 0.8	1 0.8	8 6.1
	10～20年未満	111 100.0	77 69.4	27 24.3	2 1.8	1 0.9	4 3.6
	20年以上	21 100.0	12 57.1	9 42.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0
所持している 資格	教員系	111 100.0	83 74.8	24 21.6	1 0.9	1 0.9	2 1.8
	医療系	48 100.0	41 85.4	5 10.4	1 2.1	0 0.0	1 2.1
	福祉系	62 100.0	46 74.2	15 24.2	0 0.0	0 0.0	1 1.6
	障害者スポーツ系	52 100.0	33 63.5	17 32.7	1 1.9	0 0.0	1 1.9
	スポーツ系	123 100.0	79 64.2	33 26.8	3 2.4	4 3.3	4 3.3

(2) 東京パラリンピックのボランティアへの参加意向

2020年東京パラリンピックのボランティアへの参加意向をみると、「ぜひ行いたい」が67.3%、次いで、「できれば行いたい」が24.9%、「わからない」が4.5%となっている。

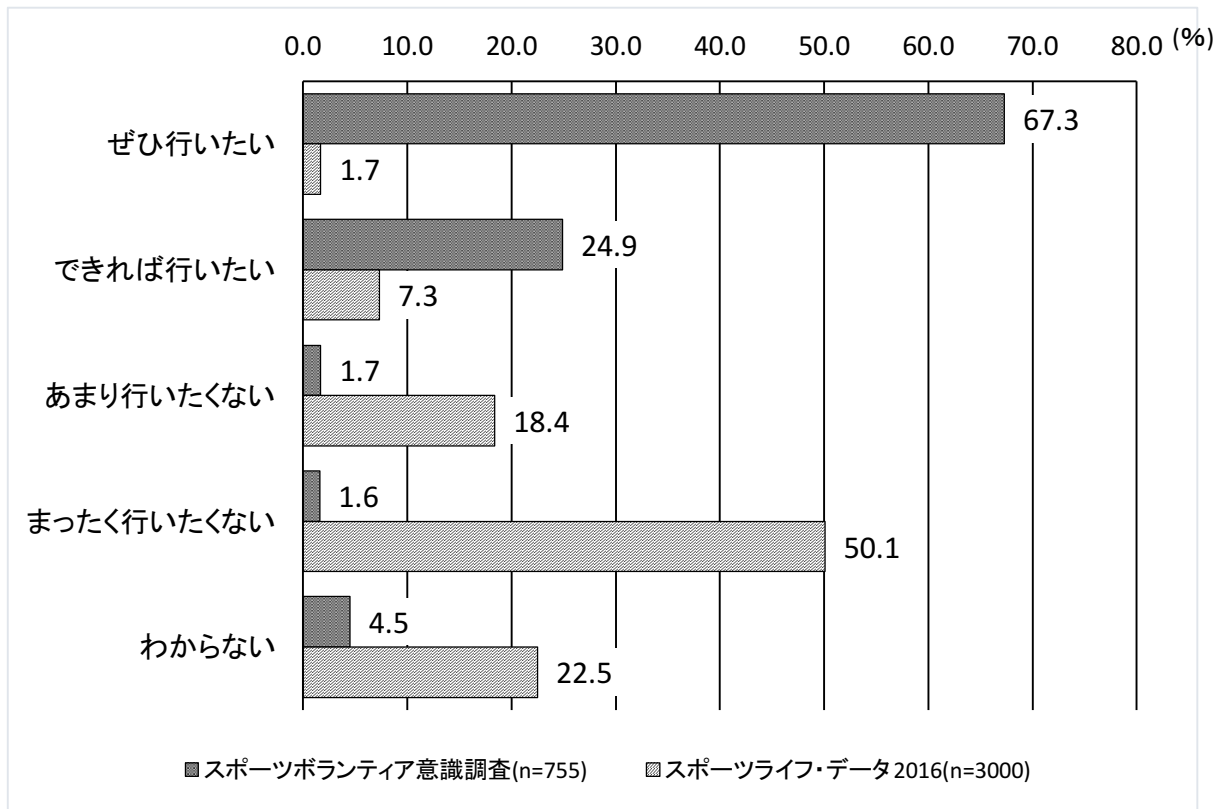
(図表 2-24)

笹川スポーツ財団の『スポーツライフ・データ 2016』における東京パラリンピックでのボランティア実施希望率をみると、東京オリンピックにおけるボランティア実施希望率と同様に、「ぜひ行いたい」が1.7%、「できれば行いたい」が7.3%となっており、「まったく行いたくない」が50.1%と約半数を占めている。この結果と比較すると、本調査における東京パラリンピックのボランティアへの参加意向は、オリンピックと比べると希望率が下がるものの、高い傾向にあると考えられる。(図表 2-24)

属性別に見ると、性別では女性において「ぜひ行いたい」がやや高かった。年代別では、70代において「ぜひ行いたい」が37.7%と低くなっている。所持している修了証、認定証別ではスポーツボランティア・上級リーダー認定証とスポーツボランティア・コーディネーター認定証において「ぜひ行いたい」が8割以上と高くなっている。所持している資格別では、医療系において「ぜひ行いたい」が8割以上と高くなっている。

(図表 2-25)

図表 2-24 東京パラリンピックのボランティアへの参加意向



図表 2-25 属性別東京パラリンピックのボランティアへの参加意向

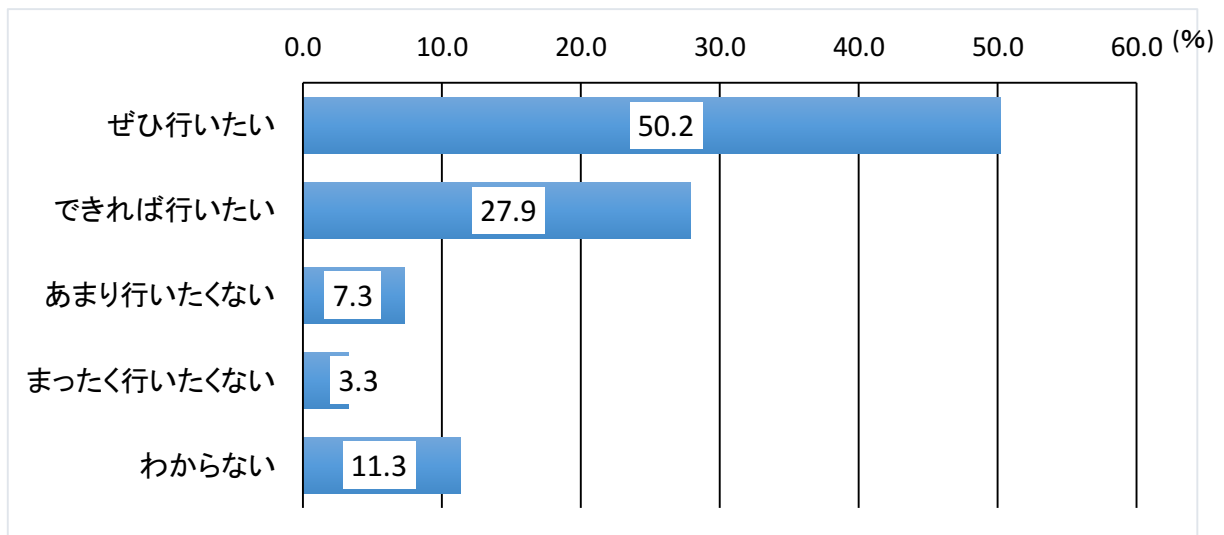
		合計	東京パラリンピックでボランティア活動を行いたいのか				
			ぜひ行いたい	できれば行いたい	あまり行いたくない	まったく行いたくない	わからない
全体		755 100.0	508 67.3	188 24.9	13 1.7	12 1.6	34 4.5
性別	女性	340 100.0	246 72.4	73 21.5	4 1.2	2 0.6	15 4.4
	男性	415 100.0	262 63.1	115 27.7	9 2.2	10 2.4	19 4.6
年齢	10代	11 100.0	7 63.6	2 18.2	0 0.0	0 0.0	2 18.2
	20代	38 100.0	25 65.8	10 26.3	0 0.0	2 5.3	1 2.6
	30代	62 100.0	42 67.7	14 22.6	1 1.6	1 1.6	4 6.5
	40代	163 100.0	115 70.6	36 22.1	2 1.2	0 0.0	10 6.1
	50代	245 100.0	180 73.5	57 23.3	0 0.0	3 1.2	5 2.0
	60代	183 100.0	119 65.0	46 25.1	7 3.8	4 2.2	7 3.8
	70代以上	53 100.0	20 37.7	23 43.4	3 5.7	2 3.8	5 9.4
所持している 修了証、 認定証	スポーツボランティア研修会 修了証	535 100.0	362 67.7	132 24.7	10 1.9	6 1.1	25 4.7
	スポーツボランティア・リーダー 認定証	250 100.0	169 67.6	62 24.8	3 1.2	6 2.4	10 4.0
	スポーツボランティア・上級リーダー 認定証	44 100.0	39 88.6	3 6.8	0 0.0	1 2.3	1 2.3
	スポーツボランティア・コーディネーター 認定証	4 100.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
スポーツボ ランティア を始めてか らの経過年 数	1年未満	216 100.0	140 64.8	55 25.5	4 1.9	4 1.9	13 6.0
	1～3年未満	162 100.0	110 67.9	45 27.8	0 0.0	2 1.2	5 3.1
	3～5年未満	114 100.0	84 73.7	23 20.2	4 3.5	2 1.8	1 0.9
	5～10年未満	131 100.0	91 69.5	29 22.1	2 1.5	1 0.8	8 6.1
	10～20年未満	111 100.0	71 64.0	29 26.1	3 2.7	2 1.8	6 5.4
	20年以上	21 100.0	12 57.1	7 33.3	0 0.0	1 4.8	1 4.8
所持してい る資格	教員系	111 100.0	76 68.5	31 27.9	1 0.9	1 0.9	2 1.8
	医療系	48 100.0	41 85.4	5 10.4	1 2.1	0 0.0	1 2.1
	福祉系	62 100.0	46 74.2	14 22.6	0 0.0	0 0.0	2 3.2
	障害者スポーツ系	52 100.0	38 73.1	12 23.1	1 1.9	0 0.0	1 1.9
	スポーツ系	123 100.0	79 64.2	29 23.6	6 4.9	3 2.4	6 4.9

(3) ラグビーワールドカップのボランティアへの参加意向

2019年ラグビーワールドカップのボランティアへの参加意向をみると、「ぜひ行きたい」が50.2%、次いで、「できれば行きたい」が27.9%、「わからない」が11.3%となっている。(図表 2-26)

属性別に見ると、性別では女性において「ぜひ行きたい」がやや高かった。年代別では、40代において「ぜひ行きたい」がやや高くなっている。所持している修了証、認定証別ではスポーツボランティア・コーディネーター認定証において「ぜひ行きたい」がやや高くなっている。スポーツボランティアを始めてからの経過年数別では、3～5年未満において「ぜひ行きたい」がやや高くなっている。所持している資格別では、医療系において「ぜひ行きたい」がやや高くなっている。(図表 2-27)

図表 2-26 ラグビーワールドカップのボランティアへの参加意向



n=755

図表 2-27 属性別ラグビーワールドカップのボランティアへの参加意向

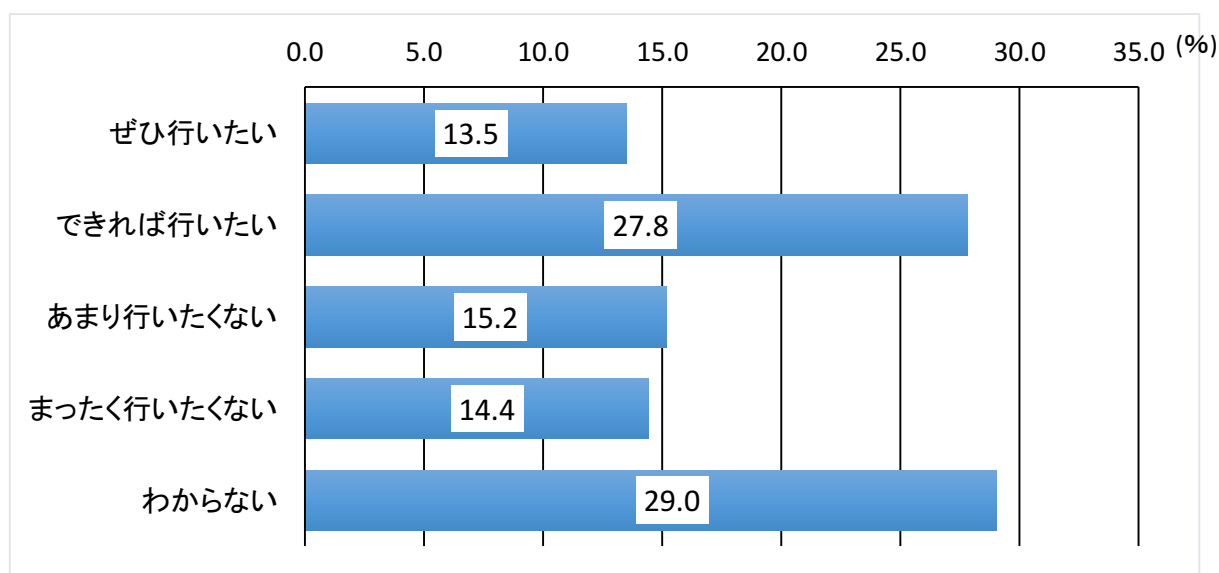
		合計	ラグビーワールドカップでボランティア活動を行いたい				
			ぜひ行いたい	できれば行いたい	あまり行いたくない	まったく行いたくない	わからない
全体		755 100.0	379 50.2	211 27.9	55 7.3	25 3.3	85 11.3
性別	女性	340 100.0	183 53.8	96 28.2	15 4.4	7 2.1	39 11.5
	男性	415 100.0	196 47.2	115 27.7	40 9.6	18 4.3	46 11.1
年齢	10代	11 100.0	4 36.4	4 36.4	1 9.1	0 0.0	2 18.2
	20代	38 100.0	19 50.0	8 21.1	5 13.2	0 0.0	6 15.8
	30代	62 100.0	30 48.4	18 29.0	4 6.5	1 1.6	9 14.5
	40代	163 100.0	93 57.1	44 27.0	7 4.3	1 0.6	18 11.0
	50代	245 100.0	136 55.5	69 28.2	7 2.9	9 3.7	24 9.8
	60代	183 100.0	81 44.3	53 29.0	21 11.5	10 5.5	18 9.8
	70代以上	53 100.0	16 30.2	15 28.3	10 18.9	4 7.5	8 15.1
所持している 修了証、 認定証	スポーツボランティア研修会 修了証	535 100.0	271 50.7	153 28.6	34 6.4	17 3.2	60 11.2
	スポーツボランティア・リーダー 認定証	250 100.0	132 52.8	64 25.6	20 8.0	9 3.6	25 10.0
	スポーツボランティア・上級リーダー 認定証	44 100.0	27 61.4	11 25.0	2 4.5	1 2.3	3 6.8
	スポーツボランティア・コーディネーター 認定証	4 100.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
スポーツボ ランティア を始めてか らの経過年 数	1年未満	216 100.0	101 46.8	62 28.7	15 6.9	4 1.9	34 15.7
	1～3年未満	162 100.0	82 50.6	49 30.2	8 4.9	9 5.6	14 8.6
	3～5年未満	114 100.0	64 56.1	36 31.6	7 6.1	3 2.6	4 3.5
	5～10年未満	131 100.0	67 51.1	29 22.1	14 10.7	2 1.5	19 14.5
	10～20年未満	111 100.0	56 50.5	25 22.5	9 8.1	7 6.3	14 12.6
	20年以上	21 100.0	9 42.9	10 47.6	2 9.5	0 0.0	0 0.0
所持してい る資格	教員系	111 100.0	51 45.9	33 29.7	6 5.4	4 3.6	17 15.3
	医療系	48 100.0	30 62.5	12 25.0	3 6.3	1 2.1	2 4.2
	福祉系	62 100.0	31 50.0	16 25.8	5 8.1	1 1.6	9 14.5
	障害者スポーツ系	52 100.0	17 32.7	18 34.6	4 7.7	1 1.9	12 23.1
	スポーツ系	123 100.0	57 46.3	31 25.2	17 13.8	5 4.1	13 10.6

(4) 関西ワールドマスターズゲームズのボランティアへの参加意向

2021年関西ワールドマスターズゲームズのボランティアへの参加意向をみると、「わからない」が29.0%、次いで、「できれば行いたい」が27.8%、「あまり行いたくない」が15.2%となっている。(図表2-28)

属性別に見ると、年代別では、10代において「できれば行いたい」がやや高くなっている。また、70代において「ぜひ行いたい」が3.8%と低くなっている。スポーツボランティアを始めてからの経過年数別では、20年以上において「できれば行いたい」が8割以上と高くなっている。所持している資格別では、医療系において「できれば行いたい」がやや高くなっている。(図表2-29)

図表2-28 関西ワールドマスターズゲームズのボランティアへの参加意向



n=755

図表 2-29 属性別関西ワールドマスターズゲームズのボランティアへの参加意向

		合計	関西ワールドマスターズゲームズでボランティア活動を行いたい				
			ぜひ行いたい	できれば行いたい	あまり行いたくない	まったく行いたくない	わからない
全体		755 100.0	102 13.5	210 27.8	115 15.2	109 14.4	219 29.0
性別	女性	340 100.0	39 11.5	96 28.2	54 15.9	46 13.5	105 30.9
	男性	415 100.0	63 15.2	114 27.5	61 14.7	63 15.2	114 27.5
年齢	10代	11 100.0	2 18.2	5 45.5	1 9.1	0 0.0	3 27.3
	20代	38 100.0	11 28.9	12 31.6	3 7.9	3 7.9	9 23.7
	30代	62 100.0	10 16.1	17 27.4	6 9.7	4 6.5	25 40.3
	40代	163 100.0	31 19.0	44 27.0	26 16.0	12 7.4	50 30.7
	50代	245 100.0	27 11.0	75 30.6	37 15.1	41 16.7	65 26.5
	60代	183 100.0	19 10.4	51 27.9	31 16.9	36 19.7	46 25.1
	70代以上	53 100.0	2 3.8	6 11.3	11 20.8	13 24.5	21 39.6
所持している 修了証、 認定証	スポーツボランティア研修会 修了証	535 100.0	65 12.1	141 26.4	85 15.9	78 14.6	166 31.0
	スポーツボランティア・リーダー 認定証	250 100.0	40 16.0	77 30.8	35 14.0	34 13.6	64 25.6
	スポーツボランティア・上級リーダー 認定証	44 100.0	7 15.9	18 40.9	6 13.6	2 4.5	11 25.0
	スポーツボランティア・コーディネーター 認定証	4 100.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
スポーツボ ランティア を始めてか らの経過年 数	1年未満	216 100.0	29 13.4	59 27.3	35 16.2	24 11.1	69 31.9
	1～3年未満	162 100.0	19 11.7	44 27.2	19 11.7	34 21.0	46 28.4
	3～5年未満	114 100.0	12 10.5	32 28.1	22 19.3	17 14.9	31 27.2
	5～10年未満	131 100.0	23 17.6	30 22.9	24 18.3	13 9.9	41 31.3
	10～20年未満	111 100.0	18 16.2	27 24.3	15 13.5	20 18.0	31 27.9
	20年以上	21 100.0	1 4.8	18 85.7	0 0.0	1 4.8	1 4.8
	所持してい る資格	教員系	111 100.0	15 13.5	30 27.0	20 18.0	15 13.5
医療系		48 100.0	8 16.7	20 41.7	6 12.5	4 8.3	10 20.8
福祉系		62 100.0	6 9.7	22 35.5	5 8.1	5 8.1	24 38.7
障害者スポーツ系		52 100.0	7 13.5	20 38.5	4 7.7	5 9.6	16 30.8
スポーツ系		123 100.0	27 22.0	33 26.8	15 12.2	18 14.6	30 24.4

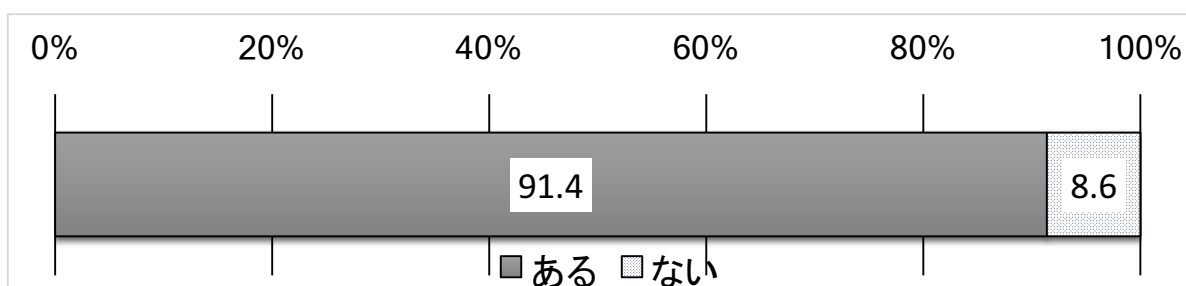
2.6 スポーツ実施・観戦状況

(1) スポーツ実施状況

過去1年間のスポーツ実施状況の有無をみると、「ある」が91.4%と最も高く、「ない」が8.6%となっている。(図表2-30)

属性別では、性別には大きな差はみられない。年代別では、10代の全てが「ある」と回答しており、20代と70代以上においても9割を超える高い実施率である。所持している修了証、認定証別では、スポーツボランティア・コーディネーター認定証の全てが「ある」と回答している。スポーツボランティアを始めてからの経過年数別では、20年以上のすべてが「ある」と回答している。所持している資格別では、障害者スポーツ系においてやや高い実施率となっている。(図表2-31)

図表 2-30 過去1年間の運動・スポーツ実施状況



n=755

図表 2-31 属性別過去1年間の運動・スポーツ実施状況

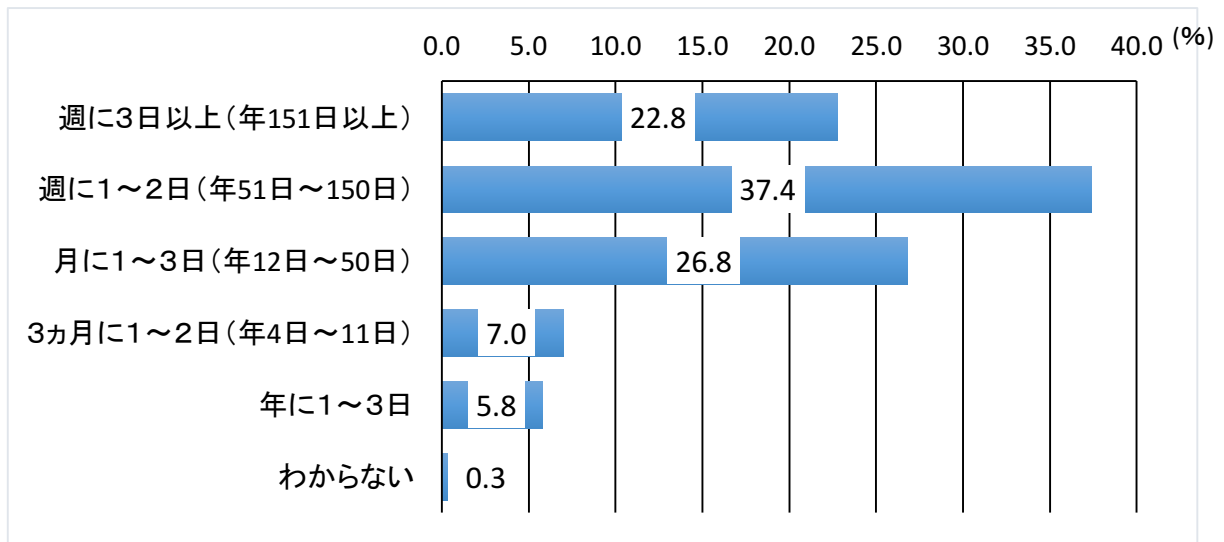
		合計	過去1年における1回以上のスポーツ実施の有無	
			ある	ない
全体		755 100.0	690 91.4	65 8.6
性別	女性	340 100.0	307 90.3	33 9.7
	男性	415 100.0	383 92.3	32 7.7
年齢	10代	11 100.0	11 100.0	0 0.0
	20代	38 100.0	37 97.4	1 2.6
	30代	62 100.0	55 88.7	7 11.3
	40代	163 100.0	145 89.0	18 11.0
	50代	245 100.0	224 91.4	21 8.6
	60代	183 100.0	167 91.3	16 8.7
	70代以上	53 100.0	51 96.2	2 3.8
所持している 修了証、 認定証	スポーツボランティア研修会 修了証	535 100.0	487 91.0	48 9.0
	スポーツボランティア・リーダー 認定証	250 100.0	232 92.8	18 7.2
	スポーツボランティア・上級リーダー 認定証	44 100.0	39 88.6	5 11.4
	スポーツボランティア・コーディネーター 認定証	4 100.0	4 100.0	0 0.0
スポーツボ ランティア を始めてか らの経過年 数	1年未満	216 100.0	191 88.4	25 11.6
	1～3年未満	162 100.0	152 93.8	10 6.2
	3～5年未満	114 100.0	107 93.9	7 6.1
	5～10年未満	131 100.0	117 89.3	14 10.7
	10～20年未満	111 100.0	102 91.9	9 8.1
	20年以上	21 100.0	21 100.0	0 0.0
所持してい る資格	教員系	111 100.0	100 90.1	11 9.9
	医療系	48 100.0	45 93.8	3 6.3
	福祉系	62 100.0	54 87.1	8 12.9
	障害者スポーツ系	52 100.0	51 98.1	1 1.9
	スポーツ系	123 100.0	117 95.1	6 4.9

(2) スポーツ実施頻度の状況

過去1年間のスポーツ実施頻度の状況をみると、「週に1～2日」が37.4%と最も高く、次いで、「月に1～3日」が26.8%、「週に3日以上」が22.8%となっている。(図表2-32)

属性別では、性別には大きな差はみられない。年代別では、20代と60代において「週に3日以上」がやや高く、40代と60代において「週に1～2日」がやや高くなっている。スポーツボランティアを始めてからの経過年数別では、20年以上において「週に1～2日」がやや高くなっている。所持している資格別では、福祉系において「週に1～2日」がやや高い実施率となっている。(図表2-33)

図表2-32 過去1年間の運動・スポーツ実施頻度



n=690

図表 2-33 属性別過去1年間の運動・スポーツ実施頻度

		合計	過去1年におけるスポーツ実施の頻度					
			週に3日 以上	週に1~2 日	月に1~3 日	3カ月に1 ~2日	年に1~3 日	わからな い
全体		690 100.0	157 22.8	258 37.4	185 26.8	48 7.0	40 5.8	2 0.3
性別	女性	307 100.0	71 23.1	119 38.8	76 24.8	22 7.2	18 5.9	1 0.3
	男性	383 100.0	86 22.5	139 36.3	109 28.5	26 6.8	22 5.7	1 0.3
年齢	10代	11 100.0	3 27.3	6 54.5	2 18.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20代	37 100.0	14 37.8	13 35.1	8 21.6	2 5.4	0 0.0	0 0.0
	30代	55 100.0	6 10.9	18 32.7	20 36.4	5 9.1	6 10.9	0 0.0
	40代	145 100.0	14 9.7	56 38.6	46 31.7	17 11.7	11 7.6	1 0.7
	50代	224 100.0	49 21.9	82 36.6	60 26.8	14 6.3	18 8.0	1 0.4
	60代	167 100.0	57 34.1	66 39.5	34 20.4	6 3.6	4 2.4	0 0.0
	70代以上	51 100.0	14 27.5	17 33.3	15 29.4	4 7.8	1 2.0	0 0.0
所持している 修了証、認定証	スポーツボランティア研修会 修了証	487 100.0	105 21.6	189 38.8	130 26.7	33 6.8	30 6.2	0 0.0
	スポーツボランティア・リーダー認定証	232 100.0	57 24.6	85 36.6	64 27.6	16 6.9	9 3.9	1 0.4
	スポーツボランティア・上級リーダー認定証	39 100.0	7 17.9	15 38.5	8 20.5	6 15.4	3 7.7	0 0.0
	スポーツボランティア・コーディネーター認定証	4 100.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0
スポーツボランティアを始めてからの経過年数	1年未満	191 100.0	47 24.6	63 33.0	53 27.7	13 6.8	14 7.3	1 0.5
	1~3年未満	152 100.0	33 21.7	62 40.8	42 27.6	7 4.6	7 4.6	1 0.7
	3~5年未満	107 100.0	26 24.3	43 40.2	25 23.4	10 9.3	3 2.8	0 0.0
	5~10年未満	117 100.0	21 17.9	44 37.6	34 29.1	8 6.8	10 8.5	0 0.0
	10~20年未満	102 100.0	25 24.5	35 34.3	28 27.5	9 8.8	5 4.9	0 0.0
	20年以上	21 100.0	5 23.8	11 52.4	3 14.3	1 4.8	1 4.8	0 0.0
所持している資格	教員系	100 100.0	23 23.0	35 35.0	25 25.0	9 9.0	8 8.0	0 0.0
	医療系	45 100.0	13 28.9	16 35.6	11 24.4	2 4.4	3 6.7	0 0.0
	福祉系	54 100.0	9 16.7	27 50.0	13 24.1	1 1.9	3 5.6	1 1.9
	障害者スポーツ系	51 100.0	8 15.7	20 39.2	16 31.4	3 5.9	4 7.8	0 0.0
	スポーツ系	117 100.0	38 32.5	43 36.8	29 24.8	3 2.6	4 3.4	0 0.0

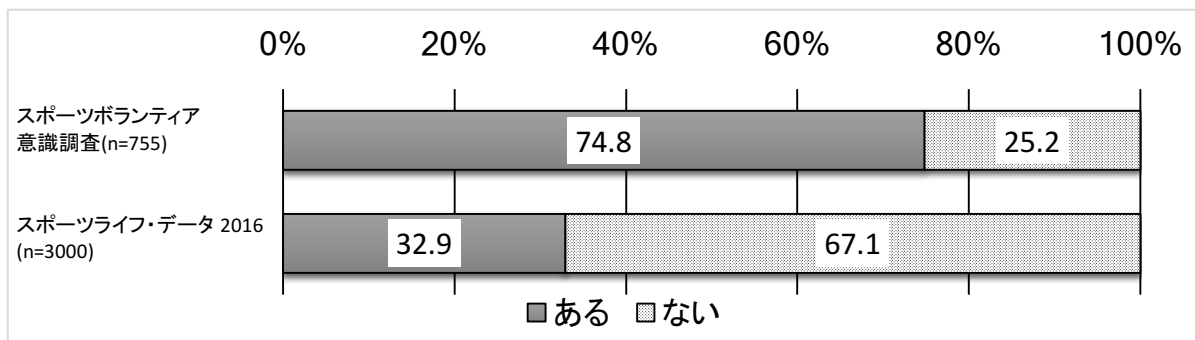
(3) スポーツ観戦状況

過去1年間の直接的なスポーツ観戦の実施状況の有無をみると、「ある」が74.8%と最も高く、「ない」が25.2%となっている。(図表2-34)

属性別にみると、性別では、男性においてやや高い実施率となっている。年代別では、10～20代においてやや高い実施率である。スポーツボランティアを始めてからの経過年数別では、20年以上においてやや高い実施率である。所持している資格別では、スポーツ系においてやや高い実施率となっている。(図表2-35)

笹川スポーツ財団の『スポーツライフ・データ 2016』における直接的スポーツ観戦状況をみると、過去1年間に体育館・スタジアム等へ足を運んで直接スポーツを観戦した人の割合は、全体の32.9%となっている。(図表2-34)また、性別では男性の観戦率が37.6%、女性が28.2%となっており、男性がやや高い状況となっている。本調査においても男性が女性に比べてやや高い実施率であるという傾向は一致しており、年代別に見ても10代の実施率が最も高いという点で同様の結果となっている。実施率は全体が74.8%と『スポーツライフ・データ 2016』の結果の2倍以上となっており、非常に高い割合であると考えられる。

図表 2-34 過去1年間のスポーツ観戦状況



図表 2-35 属性別過去1年間のスポーツ観戦状況

		合計	過去1年における競技場やグラウンドなどでのスポーツ観戦の有無	
			ある	ない
全体		755 100.0	565 74.8	190 25.2
性別	女性	340 100.0	241 70.9	99 29.1
	男性	415 100.0	324 78.1	91 21.9
年齢	10代	11 100.0	10 90.9	1 9.1
	20代	38 100.0	33 86.8	5 13.2
	30代	62 100.0	42 67.7	20 32.3
	40代	163 100.0	126 77.3	37 22.7
	50代	245 100.0	186 75.9	59 24.1
	60代	183 100.0	127 69.4	56 30.6
	70代以上	53 100.0	41 77.4	12 22.6
所持している 修了証、 認定証	スポーツボランティア研修会 修了証	535 100.0	395 73.8	140 26.2
	スポーツボランティア・リーダー 認定証	250 100.0	194 77.6	56 22.4
	スポーツボランティア・上級リーダー 認定証	44 100.0	36 81.8	8 18.2
	スポーツボランティア・コーディネーター 認定証	4 100.0	3 75.0	1 25.0
スポーツボ ランティア を始めてか らの経過年 数	1年未満	216 100.0	162 75.0	54 25.0
	1～3年未満	162 100.0	112 69.1	50 30.9
	3～5年未満	114 100.0	91 79.8	23 20.2
	5～10年未満	131 100.0	97 74.0	34 26.0
	10～20年未満	111 100.0	84 75.7	27 24.3
	20年以上	21 100.0	19 90.5	2 9.5
所持してい る資格	教員系	111 100.0	86 77.5	25 22.5
	医療系	48 100.0	37 77.1	11 22.9
	福祉系	62 100.0	49 79.0	13 21.0
	障害者スポーツ系	52 100.0	42 80.8	10 19.2
	スポーツ系	123 100.0	107 87.0	16 13.0

2.7 日本スポーツボランティアネットワークに対する期待・要望など

自由記述について、日本スポーツボランティアネットワークに対する期待・要望について書かれたものについて、一部掲載した。(図表 2-36) 記述内容としては、「東京オリンピック・パラリンピックに関するボランティアの情報提供」「地方による研修会等の開催」「情報発信機能の強化」「講習会等後のフォローの充実」「ボランティア交流機能の充実」「障害者スポーツのボランティア情報の充実」等が多く意見として寄せられた。

図表 2-36 日本スポーツボランティアネットワークに対する期待・要望

日本スポーツボランティアネットワークに対する期待・要望など（自由記述）
各種情報をいただいて有難うございます。ただ、マラソン等のスポーツが多く偏りがみられる。いろんなスポーツの情報の拡がりを期待します。
障がい者を含むスポーツボランティア団体の育成や援助、東京五輪への誘導を期待しています。
近い所でなかなかスポーツボランティアに参加出来なくて残念に思う。障がい者スポーツボランティアをしたいのだが、なかなか参加出来ない。(参加出来る活動をなかなか探すことが出来ない)
私は個人主体でボランティア活動を行っているのが現状です。今やボランティア活動は沢山の人が参加していますが、所属するグループがないとなかなかチャンスに恵まれません。所属して活動する人は良く声が掛かるとは思いますが、個人で行動している人も沢山おられます。その人達にもチャンスを与えて頂ければ嬉しいのですが。
スポーツボランティア募集案内・情報の発信を充実させてください。
多くの人にスポーツボランティアの重要性を知ってもらい、安心したスポーツ運営を期待します
危機管理(自分・周囲)についての講習の必要性。
全国各地域に同ボランティアの統一された組織を構築される事を願います。ボランティアへの待遇についての統一された基本的な基準が確立されることが必要と考えます。
資格認定の講習会・研修会などの講師が比較的固定化しているように思います。いろいろな方のお話を聞き、理解を深めたいので、もっと多様な講師陣をご用意いただけると嬉しいです。
様々な特徴を持つ人々の理解につながる研修人間関係を円滑に行えるスキルアップ研修等を開催してほしい。
土日祝日で近場のボランティア活動があれば是非、連絡をお願い致します。
スポーツボランティアの経験レベル別オープンセミナーのようなものがあったら、参加者もステップアップしやすく意識も高まるのではないのでしょうか。また少ない経験ながらも問題に直面した経験や意見交換によって横のつながりが広がるように思います。実際、ボランティアで出会った仲間同士で、大会直後に事件報告したり情報交換が活発にありますが、更に知識を深めたい気持ちや運営改善の想いはあっても本格的に学ぶには様々なハードルがあり、単発で参加するにとどまっているように感じます。
地方での組織づくりが必要。また、他団体との連携や協力した活動の実施。
『時間があるからボランティアをする』という考えの方も多いと思いますが、参加するためには『何となく』ではなく知識があれば更に

楽しく有意義な活動が期待できます。その意識付けを広く指導して頂きたいと思います。
ボランティアを依頼する側のボランティアマネジメントを啓発してもらえると、リピートボランティアが増えると思います。
オリンピックに向けて何が出来るかを早いうちから情報提供をして頂き 準備を進めて頂けたらと願っています。
いつも情報を配信していただきまして、ありがとうございます。ボランティアを勉強する時間があまりとれず、講習会にもなかなか参加できません。もう少し、枠や、開催日を増やしていただけると助かります。今後ともよろしくご指導、お願いします。
ボランティアイベントに関する情報誌や広報をさらに積極的に実施してほしい。
ボランティア同士の交流の場があると良いと思います。
子育て中ですがボランティアがしたいです。ボランティアの敷居をもっと下げてほしい。
講習会が有料なので、その後のボランティア活動への道筋も作っていただけるなど、もう少し情報がいただきたい。なかなか一人でどこかに行くのら難しい。もっと、いろいろなスポーツ団体と連携してほしい。
どういボランティア活動があるのかを具体的に案内してほしい。東京オリンピック・パラリンピック・ラグビーワールドカップにつながる活動はあるのかを知りたい。
スポーツボランティアとして携われる機会を増やして頂けるとともに、ある一定(一部)のボランティアの方だけの仲良し団体としては行ってほしくなく、広く門戸を開いたスポーツボランティア団体であってほしいです。
今は、それぞれの団体が個別に活動し、それを横連携で共有しあっているというのが実情かと思います。将来「スポーツボランティア」の統括組織という位置づけになっていただき、その社会認知度を上げていただきたいと思います。
2年半ほど前に脊髄梗塞を発症、現在杖なしで歩けるまでに回復してきてはいるが依然右足に難が残っており、以前のようにボランティア活動ができない状況にあるが、それでも協力参加できるものがあれば参加したいと思っております。
研修会、後援会の開催日がほとんど水曜日なので、曜日を分散してほしい。
早めにスケジュールなどが出されると、計画を立てやすくなります。
ボランティアを行いたい気持ちはあるが、ボストンマラソンのテロ以降、各種スポーツ大会での安全面がとても気になる。選手だけではなく観客、ボランティアを含むスタッフの安全の確保がどの程度されているのかが不安で参加できない。特にボランティアは善意が基本にあるため性善説に基づいていると思うが、昨今はそれだけでは難しい面もあるのではないだろうか。テロなどの安全対策、ボランティアの個人情報管理などについてはどのように考えて、実施しているかをもっとPRしてほしいと思う。
スポーツ・ボランティアに対する全国的に統一された組織を構築して、ボランティア活動環境の基本的統一化を目指すべきと考えます。
実際に活動すると、コーディネーターである人も ジェンダーに関し認識が低いです。モチベーションも下がりますし、育たない原因の一つです。ボランティアを行う上で、障害者のだけでなく、LGBTの方に対しての 認識の レベルの向上を望みます。
これからもネットワークのメンバーの皆さんの笑顔と共にボランティアの種まきをたくさんしてください。
スポーツボランティア団体を作りたいので、支援する仕組みを作ってほしい。
いつも大変お世話になっております。講演会もいいのですが、グループワークなどの研修の機会を増やしていただけるとうれいです。これからもよろしくお願ひ致します。
応急救護の実践的な研修会等を実施してほしい。

**会員団体の登録者およびライセンス保有者に対する
スポーツボランティア意識調査**

本調査は、日本スポーツボランティアネットワーク正会員団体の登録者および日本スポーツボランティアネットワークのライセンス保有者を対象に、スポーツボランティアの活動内容等の現状を把握し、今後のスポーツボランティア環境向上に関する基礎資料とさせていただくことを目的としています。つきましては、本調査の趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願い致します。

なお、ご回答いただいた内容は、統計的に処理した上で使用致します。また、本調査で知り得た個人情報については、個人情報保護関係法令等に基づき適切に取り扱います。

特定非営利活動法人日本スポーツボランティアネットワーク

問1. あなた自身についてお尋ねします。

- 1 性別： ①女性 ②男性
- 2 年代： ①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代以上
- 3 居住都道府県： ()
- 4 所属のスポーツボランティア組織名：(○はいくつでも)
 - ①どこにも所属していない
 - ②さっぽろ健康スポーツ財団
 - ③うつくしまスポーツルーターズ
 - ④館山市
 - ⑤小平市
 - ⑥笹川スポーツ財団
 - ⑦ジャパン・スポーツボランティア・ネッツ
 - ⑧スペシャルオリンピックス日本
 - ⑨スポーツボランティア東京
 - ⑩日本スポーツボランティア・アソシエーション
 - ⑪川崎フロンターレ
 - ⑫湘南スポーツコミュニティセンター
 - ⑬エコデザイン市民社会フォーラム
 - ⑭愛媛大学
 - ⑮富山スポーツボランティア育成会
 - ⑯その他の団体 ()
- 5 日本スポーツボランティアネットワークが発行する修了証または認定証をお持ちの方は○印をつけてください。(○はいくつでも)
 - ①所持していない
 - ②スポーツボランティア研修会 修了証
 - ③スポーツボランティア・リーダー 認定証
 - ④スポーツボランティア・上級リーダー 認定証
 - ⑤スポーツボランティア・コーディネーター 認定証

- 6 スポーツボランティア活動をはじめてから何年目ですか。 約（ ）年
7 以下に該当する資格をお持ちの方（取得中も含む）は○印をつけてください。

（○はいくつでも）

- ①教育系の資格（教員免許など）
- ②医療系の資格（医師免許、看護師、理学療法士など）
- ③福祉系の資格（介護福祉士、保育士など）
- ④障害者スポーツ系の資格（障がい者スポーツ指導員など）
- ⑤スポーツ系の資格（日本体育協会公認スポーツ指導者、健康運動指導士、
日本レクリエーション協会指導者など）
- ⑥資格は所持していない

問2. あなたは、過去1年間にスポーツにかかわるボランティア活動を行ったことがありますか。（○はひとつ）

1 ある → SQ1 へ

2 ない → 問5 へ

SQ1. それはどのようなボランティア活動ですか。活動ごとに実施回数もお答えください。（○はいくつでも）

- | | | | |
|---|---------------|---|-------|
| 1 | 大会、イベントの運営や世話 | → | 年（ ）回 |
| 2 | スポーツの指導 | → | 年（ ）回 |
| 3 | スポーツの審判 | → | 年（ ）回 |
| 4 | 団体・クラブの運営や世話 | → | 年（ ）回 |
| 5 | スポーツ施設の管理の手伝い | → | 年（ ）回 |
| 6 | その他（ ） | → | 年（ ）回 |

問3. あなたは、過去1年間に障害者のスポーツにかかわるボランティア活動を行ったことがありますか。（○はひとつ）

1 ある → SQ1 へ

2 ない → 問4 へ

SQ1. それはどのようなボランティア活動ですか。活動ごとに実施回数もお答えください。（○はいくつでも）

- | | | | |
|---|---------------|---|-------|
| 1 | 大会、イベントの運営や世話 | → | 年（ ）回 |
| 2 | スポーツの指導 | → | 年（ ）回 |
| 3 | スポーツの審判 | → | 年（ ）回 |
| 4 | 団体・クラブの運営や世話 | → | 年（ ）回 |
| 5 | スポーツ施設の管理の手伝い | → | 年（ ）回 |
| 6 | その他（ ） | → | 年（ ）回 |

問4. スポーツボランティア活動を通じて、あなたの日常生活にはどのような変化がありましたか。(〇はいくつでも)

- 1 新しい経験ができた
- 2 社会や人の役に立つことができた
- 3 たくさんの人たちと知り合えた
- 4 他の世代の人との関わりが増えた
- 5 人から感謝される幸せを感じた
- 6 生き甲斐や、やり甲斐を感じた
- 7 視野が広がり、物事の捉え方が変わった
- 8 地域への愛着や誇りを持つようになった
- 9 人に対して思いやりが持てるようになった
- 10 今までの自分の経験や知識が生かされた
- 11 特に変化はなかった

問5. 今後、あなたはスポーツにかかわるボランティア活動を行いたいと思いますか。(〇はひとつ)

- | | | |
|--------------|---|-------|
| 1 ぜひ行いたい | } | SQ1 へ |
| 2 できれば行いたい | | |
| 3 あまり行いたくない | } | 問6 へ |
| 4 まったく行いたくない | | |
| 5 わからない | | |

SQ1. それはどのようなボランティアですか。(〇はいくつでも)

- 1 大会、イベントの運営や世話
- 2 スポーツの指導
- 3 スポーツの審判
- 4 団体・クラブの運営や世話
- 5 スポーツ施設の管理の手伝い
- 6 スポーツ情報誌やホームページ作成の手伝い
- 7 その他 ()

問6. あなたは、スポーツボランティア活動を行ううえで、または新たに始めるうえで、下記の項目について、どれくらい課題だと感じていますか。(それぞれに○はひとつ)

	課題ではない	あまり課題ではない	やや課題である	課題である
活動内容に関する情報が少ない	1	2	3	4
近場での活動がない	1	2	3	4
スポーツボランティア活動が認知されていない	1	2	3	4
金銭的負担が大きい(交通費・運営費など)	1	2	3	4
自分自身の健康や体力に問題がある	1	2	3	4
活動のための時間がとれない	1	2	3	4
仕事・学業との両立・調整が難しい	1	2	3	4
家庭との両立・調整が難しい	1	2	3	4

問7. あなたは、過去1年間にスポーツ以外のボランティア活動を行いましたか。

1 ある → SQ1 へ	2 ない → 問8 へ
--------------	-------------

SQ1. それはどのようなボランティアですか。(○はいくつでも)

1 健康や医療サービスに関係した活動 (献血、入院患者の話し相手など) 2 高齢者を対象とした活動 (高齢者の日常生活の手助けなど) 3 障害者を対象とした活動 (手話、点訳、朗読、障害者の社会参加の協力など) 4 子どもを対象とした活動 (子供会の世話、子育て支援ボランティア、学校行事の手伝いなど) 5 文化・芸術・学術に関係した活動 (日本古来の文化を広めること、美術館ガイドなど) 6 まちづくりのための活動 (道路や公園等の清掃、花いっぱい運動、まちおこしなど) 7 安全な生活のための活動 (防災活動、防犯活動、交通安全運動など) 8 自然や環境を守るための活動 (野鳥の観察と保護、森林や緑を守る活動、リサイクル運動など) 9 災害に関係した活動 (災害を受けた人に食べものや着るものを送ること、炊き出しなど) 10 国際協力に関係した活動 (海外支援協力、難民支援、日本にいる外国人への支援活動など) 11 その他()
--

問8. あなたは、今後、日本で開催されるビッグスポーツイベントでのボランティア活動をしたいと思いますか。

SQ1. 2020年開催の東京オリンピックでのボランティア活動。(○はひとつ)

1 ぜひ行いたい 2 できれば行いたい 3 あまり行いたくない 4 まったく行いたくない 5 わからない
--

SQ2. 2020年開催の東京パラリンピックでのボランティア活動。(○はひとつ)

- | | | |
|-------------|--------------|---------|
| 1 ぜひ行いたい | 2 できれば行いたい | |
| 3 あまり行いたくない | 4 まったく行いたくない | 5 わからない |

SQ3. 2019年開催のラグビーワールドカップでのボランティア活動。(○はひとつ)

- | | | |
|-------------|--------------|---------|
| 1 ぜひ行いたい | 2 できれば行いたい | |
| 3 あまり行いたくない | 4 まったく行いたくない | 5 わからない |

SQ4. 2021年開催の関西ワールドマスタースゲームズでのボランティア活動。

(○はひとつ)

- | | | |
|-------------|--------------|---------|
| 1 ぜひ行いたい | 2 できれば行いたい | |
| 3 あまり行いたくない | 4 まったく行いたくない | 5 わからない |

問9. あなたは、過去1年間に1回以上、運動・スポーツを行ったことがありますか。

(○はひとつ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 ある → SQ1へ | 2 ない → 問10へ |
|-------------|-------------|

SQ1. その運動やスポーツを行った日数を全部合わせると、1年間に何日くらいになりますか。この中から1つだけお答えください。(○はひとつ)

- | |
|----------------------|
| 1 週に3日以上 (年151日以上) |
| 2 週に1~2日 (年51日~150日) |
| 3 月に1~3日 (年12日~50日) |
| 4 3カ月に1~2日 (年4日~11日) |
| 5 年に1~3日 |
| 6 わからない |

問10. あなたは、過去1年間に競技場やグラウンドなどで、直接スポーツの試合を観戦したことがありますか。(○はひとつ)

- | | |
|-------------|------|
| 1 ある → SQ1へ | 2 ない |
|-------------|------|

問11. 日本スポーツボランティアネットワークに対する期待・要望など、ご意見がございましたらお書きください。

--

アンケートにご回答いただき、ありがとうございました。
この調査は、ポートルース公益資金による日本財団の助成金を受けて実施しています。

**スポーツボランティア個人に関する活動調査
報告書**

2017年3月発行

発行者 特定非営利活動法人日本スポーツボランティアネットワーク

〒107-6011 東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル 11 階

公益財団法人笹川スポーツ財団内

TEL:03-5545-3301 FAX:03-5545-3305

URL: <http://www.jsvn.or.jp/> E-mail: info@jsvn.or.jp

無断転記、複製および転載を禁止します。引用の際は、本書が出典であることを明記してください。本事業は2016年度日本財団助成事業を受けて実施したものです。



日本スポーツボランティアネットワーク